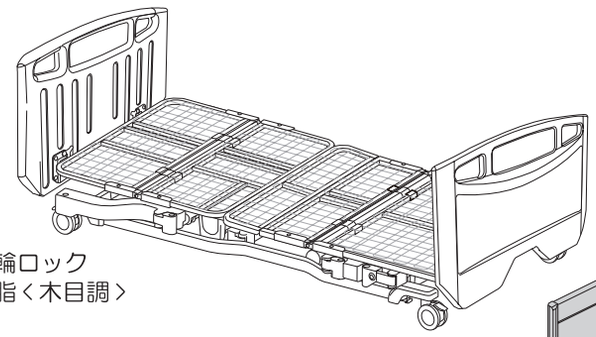
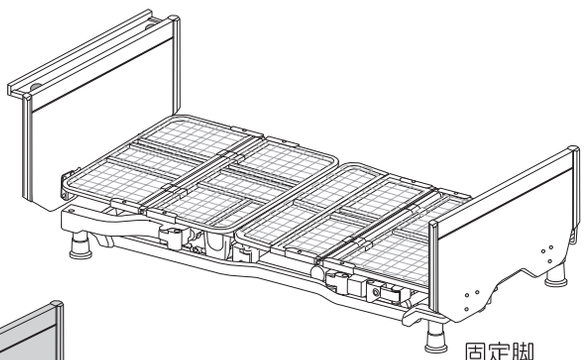
介護施設用電動ベッド　P400 シリーズ

Ardel
アーデル

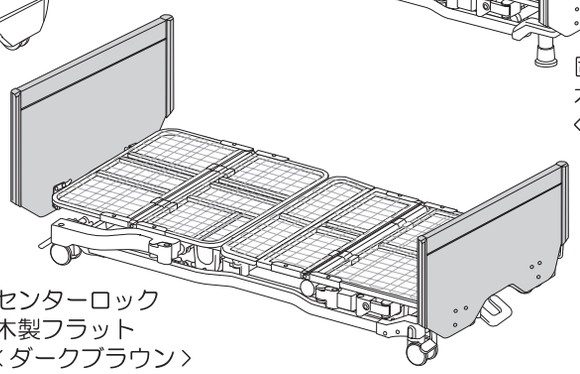
取扱説明書



4 輪ロック
樹脂〈木目調〉



固定脚
木製宮付
〈ライトブラウン〉



センターロック
木製フラット
〈ダークブラウン〉

ポジショニングベッド

2 モーターポジショニングベッド
- P400-61シリーズ：固定脚
- P400-62シリーズ：4 輪ロック
- P400-63シリーズ：センターロック

3 モーターポジショニングベッド
- P400-71 シリーズ：固定脚
- P400-72 シリーズ：4 輪ロック
- P400-73 シリーズ：センターロック

ベーシックベッド

2 モーターベーシックベッド
- P400-21 シリーズ：固定脚
- P400-22 シリーズ：4 輪ロック
- P400-23 シリーズ：センターロック

3 モーターベーシックベッド
- P400-31 シリーズ：固定脚
- P400-32 シリーズ：4 輪ロック
- P400-33 シリーズ：センターロック

この度は介護施設用電動ベッド「P400 シリーズ アーデル」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この「取扱説明書」は、組み立て・ご使用の前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

- ●介助が必要な方がご使用になる場合は、介助する方も必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ●この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。
- ●商品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。
- ●お買い上げの商品は、仕様変更などにより、この取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。
- ●ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

商品名 型　式	介護施設用電動ベッド P400 シリーズ アーデル

株式会社プラッツ

このベッドは介護施設で使用されることを目的として作られたベッドです。このベッドには次のような特長があります。


ハイバックサポート

◆頭頸部の角度を調節します。
（ポジショニングベッドのみ）


背上げ

◆起き上がり動作を支援します。


ひざ上げ

◆リクライニング時のずれを防ぎます。また、下肢の姿勢を調整します。ひざ上げ時につま先の「足先上げ」と「足先下げ」を選択できます。（ポジショニングベッドのみ）


高さ調節

◆立ち上がり動作を支援します。また、介助しやすい高さにベッドを調節します。


フィッティング機能

◆ひざの屈曲位置を調節します。
（ポジショニングベッドのみ）

◆ボードは取り付け、取り外しが容易にでき、伝い歩きとキャスターペダルの足元操作を考慮したデザインです。
◆脚ボトムとボードの間にサイドレール収納ホルダーがあります。
サイドレールを使用しないときは、ここに収納することができます。
◆あし側に点滴棒取り付け穴があります。点滴棒を取り付けることにより、点滴バッグなどを掛けることができます。
◆回転式ホルダーは収納ができ、車椅子への乗り降りを楽におこなうことができます。
◆ハルンバッグ用フックを取り付けることによりハルンバッグを取り付けることができます。
◆ナースコールホルダー / 万能フックはサイドレールに取り付け可能です。
◆センターロックシステムで、一度のペダル操作でキャスターの首振りと回転が４輪同時にロック / 解除できます。
（センターロックのみ）

もくじ

■使用目的・特長 …… 1
■もくじ …… 2
■安全にご使用いただくために（ご使用前・ご使用上の警告と注意）…… 3～9
■移動について …… 9
■ベッドの設置について …… 10
■開梱と部品の確認 …… 11～13
■各部の名称 …… 14
■ベッドの組み立てかた
・ベースフレームとセンターフレームの組み立て …… 15
・液晶手元スイッチの取り付け …… 16
・背ボトムの取り付け …… 17
・ハイバック用モーターコードの取り回し（3モーターポジショニングベッドのみ）… 18
・ひざ脚ボトムの取り付け …… 19
・ヘッドボード、フットボードの取り付け…… 19
■手元スイッチの使いかた…… 20
・液晶手元スイッチの使いかた …… 21～33
・標準手元スイッチの使いかた …… 34
■ライジングモーションについて…… 35
■標準手元スイッチ使用時のベーシックベッドの連動動作…… 35
■標準手元スイッチ使用時のポジショニングベッドの連動動作…… 36
・連動ハイバック機能の連動解除（2モーターポジショニングベッド）…… 36
■フィッティングバーの設定（ポジショニングベッドのみ）…… 37
■ベッドの分解方法 …… 38～39
■故障かな？と思ったら …… 40
■標準手元スイッチのリセット（3モーターポジショニングベッド）…… 40
■適合周辺機器 …… 41
■保管について …… 41
■レールの組み合わせ …… 42～44
■停電時の背下げ方法 …… 45
■便利な使いかた …… 46～47
■マットレスストッパーの取り付けかた …… 48
■商品の仕様
・2モーターベーシックベッド …… 49
・2モーターポジショニングベッド …… 50
・標準手元スイッチ対応3モーターベーシックベッド …… 51
・液晶手元スイッチ対応3モーターベーシックベッド …… 52
・標準手元スイッチ対応3モーターポジショニングベッド …… 53
・液晶手元スイッチ対応3モーターポジショニングベッド …… 54
■保証とアフターサービス …… 55

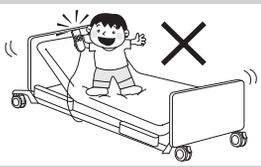
安全にご使用いただくために　※必ずお守りください。

この取扱説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、利用者や他の方への危害や財産への被害を未然に防止するために、色々な絵表示をしております。
下記をよくお読みいただき、内容をよく理解してから正しくお使いください。

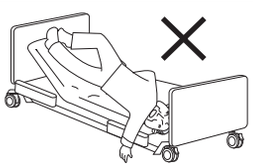
⚠警告	この表示の欄は、「**生命に関わる怪我、または重傷を負う可能性が想定される内容**」を記載しています。
⚠注意	この表示の欄は、「**傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容**」を記載しています。

⚠警告

●ベッド上に立ったり、立った状態で手元スイッチの操作をしないでください。
- 転倒などにより怪我や事故の原因になります。

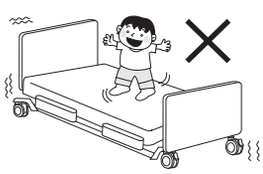


●ベッドにうつ伏せで寝た状態や頭脚逆方向で寝た状態でのご使用はしないでください。
- 怪我や事故の原因になります。



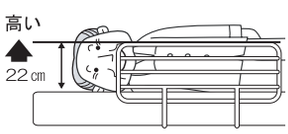
●「上がっている背やひざ脚ボトムの上に座る」「ボトムの上で飛び跳ねる」「ボトムに飛び乗る」などの行為は絶対にしないでください。
- 怪我や事故、故障の原因になります。

●ベッドの上で飛び跳ねたり、歩き回らないでください。
- 怪我や事故の原因になります。

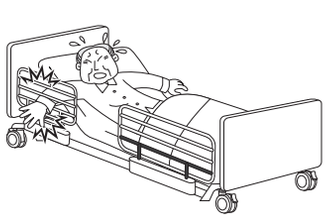


●モーターの長時間連続使用（2分以上）はしないでください。
- 加熱により、温度ヒューズがはたらき動かなくなります。
- 動かなくなったら販売店にお問い合わせください。
  この場合は修理費が発生します。

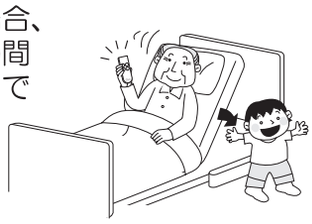
●体位変換(寝返りなど)の際に転落の危険性がありますので、マット面からレールの上まで 22 ㎝以上を確保してください。
- 怪我や事故の原因になります。



●サイドレールを取り付けてご使用の際に、身体の一部（頭、腕、脚）をサイドレール・ベッド用グリップから出さないでください。また出した状態で、ベッドの操作をしないでください。
- 怪我や事故の原因になります。
- 安全に使用していただくためにサイドレール・ベッド用グリップ用安全カバーを別売りにてご用意しております。



●各部の操作をする場合、フレームとボトムの間に手や指を入れないでください。
- 怪我や事故の原因になります。

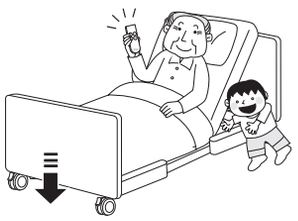


●他社製のサイドレール、ベッド用グリップや、この取扱説明書で指定した周辺機器以外の組み合わせで使用しないでください。
- 危険な隙間が発生し、腕や首、頭をはさむなど重大事故の原因になります。



⚠警告

●ベッドの下にもぐり込んだり、手や足を入れないでください。
- 怪我や事故の原因になります。



●濡れた手で手元スイッチを操作しないでください。水などの液体で、手元スイッチや駆動部を濡らさないでください。
- ショートして故障、火災や感電の恐れがあります。
- 誤作動の原因になります。

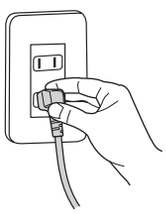


●分解・修理・改造はしないでください。
- 故障や感電の原因になります。

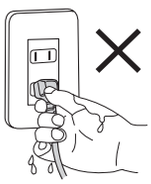


●本体に貼ってあるシールは剥がさないでください。お客様に注意を促したり、故障時に素早い対応をするためのものです。
- 型式やロット番号から詳細な仕様が分かり、的確な対応が可能になります。

●電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持って抜いてください。
- 断線・接触不良により、故障や火災の原因になります。



●電源プラグは濡れた手で触らないでください。
- 感電の原因になります。



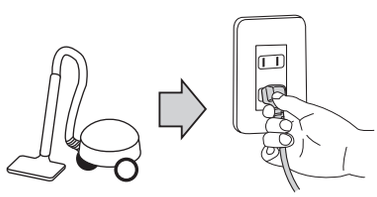
●このベッドは屋内専用です。
屋外では使用できません。

●被災したベッドは点検・修理を依頼してください。
- 地震、火災、水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社まで点検、修理を依頼してください。電気部品のショートや漏電による感電、火災の原因になります。

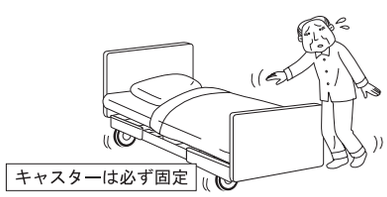
●マットレスを設置しない状態でベッドを使用しないでください。
- ボトムの隙間などに手足の指などがはさまれて怪我をする恐れがあります。
  マットレスは、必ず指定のマットレスをご使用ください。（P41 参照）
  マットレスの上に布団などを重ねて使用しないでください。
- 怪我や事故の原因になります。

●ヘッドボード / フットボードに加湿器吹出し口の風を直接当てたり、濡れた衣類やタオルを掛けないでください。
- ヘッドボード / フットボードが変色、変形する恐れがあります。

●掃除・点検などでベッド下に入る場合は必ず電源プラグを抜いてください。
- 誤操作によりベッドにはさまれ重傷事故の原因になります。

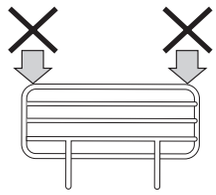


●キャスターのロックを解除した状態で放置しないでください。
掃除の際など移動した後は必ずロックしてください。
- ベッドからの乗り降りの際、ベッドが移動し転倒の危険性があります。
- ベッドが壁にぶつかり破損することがあります。



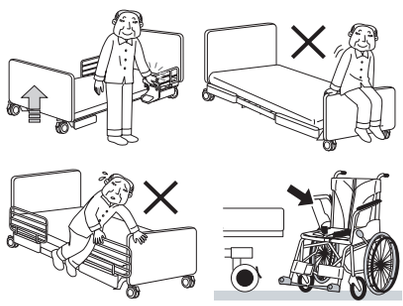
⚠警告

●サイドレールの端に体重を掛けないでください。



・傾いて転倒する恐れがあります。
・過度の荷重を掛けると破損する可能性がありますので、立ち上がりに不安のある方は、このベッド指定の「ベッド用グリップ」（P41参照）をご利用ください。

●ベッドからの乗り降りの際の転倒事故に注意してください。
必ず下記のことを守ってご使用ください。



・ベッドの横から乗り降りしてください。
・サイドレールをまたいだり、ヘッドボード / フットボードをまたいだりしないでください。
・睡眠薬を服用の際は、ベッドの乗り降りには十分にご注意ください。
・車椅子への移乗の際は、ベッドのキャスターおよび車椅子の車輪がロックされているかを確認して、乗り降りしてください。

●サイドテーブルを使用するときは、図のように体重を掛けないでください。



・怪我や事故の原因になります。

●ヘッドボードやフットボードに荷重を掛けて、リハビリなどをおこなわないでください。
・怪我や事故の原因になります。

●ベッドの下に入ったり、物を置いたりしないでください。ベッドの下や隙間に身体の一部（頭・腕・脚）などを入れないでください。
・怪我、事故の原因になります。掃除、点検などでベッドの下に入る場合は必ず電源プラグを抜いてください。

●乳幼児やお子様には使用しないでください。
・本商品は、乳幼児やお子様向けには設計されていません。サイドレールなどの隙間に身体の一部がはさまれて、怪我をする恐れがあります。
・サイドレールを使用しても、隙間から転落して怪我をする恐れがあります。

●適合機種以外の電気機器のコード類（電気コードなど）をベッドの下に通さないでください。
・キャスターや可動部にはさまれてコード類が破損し、感電、火災の恐れがあります。

●ボードやサイドレールなどに抑制帯を取り付けないでください。
・不意に外れて怪我をしたり、ボードやサイドレールなどが破損、変形する恐れがあります。

●サイドレール収納ホルダーに収納したサイドレールに手をつかないでください。
・バランスを崩し転倒したり、ボードとサイドレールとの間に手指がはさまれて怪我をする恐れがあります。

●キャスター操作ペダルに乗らないでください。
・転倒して怪我をしたり、ベッドが破損する恐れがあります。

⚠注意

●サイドレールとベッド用グリップ、サイドレール・ベッド用グリップとボードやボトムなどとの隙間に身体の一部が入らないよう注意してください。
- 隙間にはさまれたり、怪我や事故の恐れがあります。
- 取扱説明書に記載されているサイドレールおよびベッド用グリップの組み合わせでご使用ください。

●ご使用になられる前に、各部のピンなどが完全に固定されているか、ご確認ください。
- ピンなどが緩んでいると、ご使用中にパーツが外れたりすることも考えられ、事故の原因になります。

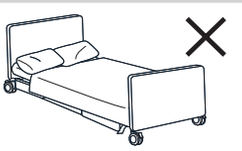
●マットレスがずれないように注意してください。マットレスがずれると危険な隙間が発生し、身体の一部が入り込む恐れがあります。
- 付属のマットレスストッパー（P48 参照）や適合するサイドレール（P41 参照）を取り付けることでマットレスのずれ防止になります。

●介助者などがベッドから離れたり、利用者から一時的に目を離す際は、背の角度やベッドの高さに注意してください。
- 万一のベッドからの転落に備え、状況に応じて背の角度を低くしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。

●治療中の方やペースメーカーをご使用の方は医師に相談してください。
- ベッドの操作が、症状を悪化させる可能性があります。
- 医師、看護師の指導に従ってください。
- 背脚の角度によっては床ずれなどの症状を悪化させることがあります。



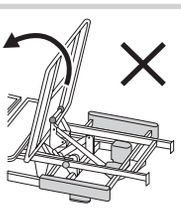
●このベッドは 1人専用のベッドです。ベッドを 2人以上でご使用にならないでください。リハビリをおこなう際、勢いをつけ過度に荷重を掛けたりしないでください。



●転倒防止のため、ベッドの周りに不要な物を置かないでください。

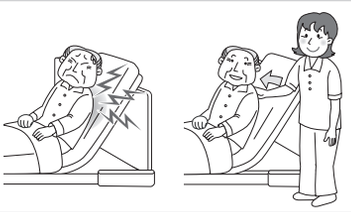
●手元スイッチを使用しないときは、不用意にボタンを操作しないようにサイドレールやベッド用グリップの外側などに掛けてください。

●背ボトムを 90 度以上、動かさないでください。
- ローラーが外れたり、ローラーガイドが変形することがあります。



●背ボトムのみ、脚ボトムのみに負荷を掛けた状態で、背上げやひざ上げなどのベッド操作をおこなわないでください。
- 怪我をしたり、ベッドが破損、変形する恐れがあります。

●介助者の方へ
背ボトムを上げると利用者の身体に圧力やずれが発生し、その状態が続くと床ずれの原因や呼吸がしにくくなる場合があります。リクライニングをおこなった後は身体とマットレスの間に一度隙間を作り、圧力を抜いてください。



●ベッドの背上げや高さ調節などの操作をするときは、利用者の体の一部がサイドレールなどの隙間に入っていないか注意して操作してください。
- 自分で体位を保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

⚠注意

●故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。

- 直射日光のあたる場所
- 冷暖房による冷気や暖気が直接あたる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温、多湿、低温、乾燥した場所
- ホコリ、煙、塩分、イオウ分、腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- 床が水平でない場所
- 床が丈夫でない場所

⚠リフト使用時の注意

●リフトを使用される場合は販売店にご相談ください。

⚠緊急時の注意

●モーターが壊れて動かないなどの緊急時の背下げは「停電時の背下げ方法（P45）」を参照してください。
※停電時はオプションのバッテリーを使用して背下げをおこなうことができます。

●ベッド用グリップ（P41参照）を使用される場合、ベッドにしっかりと固定されているか定期的に確認してください。

- 転倒し怪我や骨折の恐れがあります。
- ベッド用グリップの取扱説明書をご覧になり、しっかりと取り付けてください。

●モーター作動中にテレビなどにノイズが発生することがございます。
予めご了承ください。



●電子治療器（マイクロ波治療器、超音波治療器など）を使用するときは電源プラグを抜いてください。

- 電子治療器を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤作動の原因になります。
- なお、他のME機器と併用する場合は、安全をご確認の上ご使用ください。

●ボトムの角度やベッドの高さを調整する際は、利用者の状態に注意してください。

- 利用者がベッドの調整中に動くと、ベッドから転落したり、隙間にはさまれて怪我をする恐れがあります。特に自分で体位を保持できない方の場合は身体を支えながら操作してください。

●サイドレール、ベッド用グリップなどを取り付ける際は、きちんと挿し込まれていることを確認してください。

- 挿し込み穴に異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドから転落したり意図せぬ隙間が発生して、身体の一部がはさまれて怪我をする恐れがあります。
- ベッドの乗り降りなどの際に転落して、怪我をする恐れがあります。

●サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。

- サイドレールとサイドレール、ボードとサイドレールの隙間から転落し、怪我をする恐れがあります。
- サイドレールの上から身を乗り出して転落し、怪我をする恐れがあります。
- 厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。
- ベッドの背を上げた状態で使用される場合、転落予防としての効果を十分に発揮できない恐れがあります。
- 特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

●ボトムなどに抑制帯を取り付けた状態で、背上げやひざ上げなどのベッド操作をおこなわないでください。

- 利用者の身体が締め付けられて怪我をしたり、ベッドが破損、変形する恐れがあります。
- 利用者や介助者の方などが手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次の方法により誤操作による事故を未然に防いでください。
- 手元スイッチをロックしてください。（液晶手元スイッチ：P25参照、標準手元スイッチ：P34参照）
- 電源プラグを抜いてください。

⚠注意

●ボトムなどの突起物に衣類などが絡まないように注意してください。
- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、怪我をする恐れがあります。
- ベッドの乗り降りなどの際に転落して、怪我をする恐れがあります。

●「足先上げ」「足先下げ」の設定時には手などをはさまないように注意してください。
（ポジショニングベッドのみ）
- ひざ脚ボトムの間などに手などをはさまれて、怪我をする恐れがあります。

●ベッドは定期的に点検してください。
- 使用の頻度や環境により、商品は摩耗、劣化します。定期的に各部の緩み、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。摩耗、劣化した状態で使い続けると、思わぬ怪我をする恐れがあります。

●操作が理解できないと思われる方（お子様や認知症の方など）に操作させないでください。
- 操作が理解できないと思われる方が、一人で操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬ怪我をする恐れがあります。そのような場合には、次の方法により誤操作による事故を未然に防いでください。
- 手元スイッチをロックしてください。（液晶手元スイッチ：P25 参照、標準手元スイッチ：P34 参照）
- 電源プラグを抜いてください。

●電源コードや手元スイッチのコードはコードクリップに取り付け、足や物を引っ掛けないようにしてください。
- プラグやコードが破損し、感電、火災の恐れがあります。
- 転倒して怪我をする恐れがあります。

●電源コードは定期的に掃除をしてください。
- 電源プラグの表面にホコリが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより感電、火災の恐れがあります。
- 電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

●水洗いをしたり、故意に水をかけないでください。
- モーターや手元スイッチなどに水をこぼさないでください。誤ってこぼしてしまった場合、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社までご連絡ください。

●手元スイッチなどの取り扱いに注意してください。
- ベッドが誤作動して怪我をしたり、ショートなどにより、感電、火災の恐れがあります。また、故障の原因となります。
- ぶつけたり傷付けないでください。
- 落としたり、コードを無理に引っ張らないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどは修理（交換）を依頼してください。

●ヘッドボード、フットボードがしっかり取り付けられていることを確認してください。
- ボードの取り付けが不完全な場合、ベッド移動時や身体を支えるためにボードに掴まったときなどに不意に外れ、転倒などによる怪我の恐れがあります。

●ベッドの電源は直接コンセントから取ってください。
- コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発火して火災の恐れがあります。

●樹脂カバーを持って、ベッドを動かしたり、樹脂カバーのねじが緩んだままでの使用は避けてください。
- 樹脂カバーの割れや、怪我をする恐れがあります。

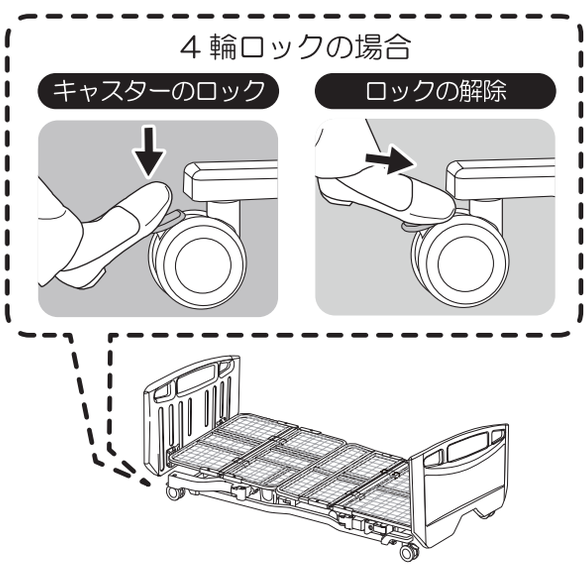
⚠注意

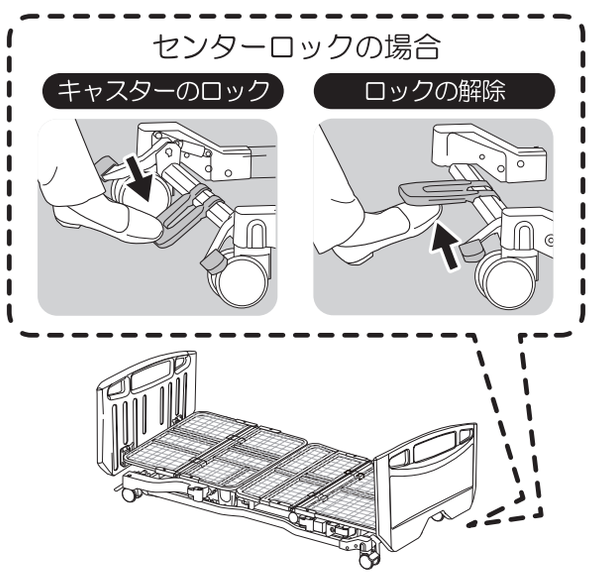
●ベッドの高さが低位置でのベッド搬送はしないでください。
・ベッドの部品で床を傷付ける恐れがあります。

●ベッドと壁や周りのものに、はさまれないように注意してください。
・体の一部がはさまれるなど怪我をする恐れがあります。特に、予測できない行動をとると思われる方や体位をご自身で保持できない方には十分注意してください。

キャスターでの移動について

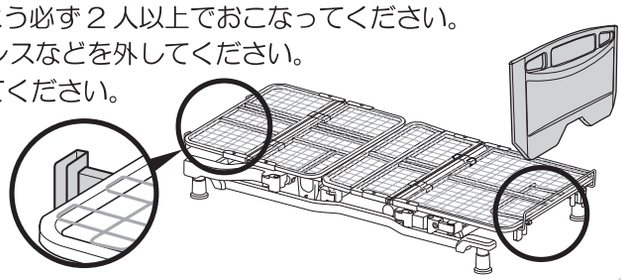
●移動する場合は必ず、キャスターのペダルがロック解除されていることを確認してください。
●ベッド設置後は必ず、キャスターのペダルをしっかりとロックしてください。
●キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので絶対におこなわないでください。
●ベッド移動時以外は、必ずキャスターをロックしてください。
●ベッドを移動するときは、足元に注意してください。
・キャスターのペダルに足をぶつけたり、怪我をする恐れがあります。
●利用者を搬送する際は、サイドレールを取り付けてください。
・利用者がベッドから転落するなど、怪我をする恐れがあります。
●ベッドを移動する場合はボードを持って移動してください。
・サイドレールなどを持つとサイドレールなどに大きな力が掛かり、破損や変形する恐れがあります。
●段差のある場所での移動は避けてください。
・ベッドの破損・変形や故障の原因となる恐れがあります。
やむを得ない場合は、ベッドをできるだけゆっくりと動かして移動させてください。
●段差の乗り越えは避けてください。
・ベッドの破損・変形や故障の原因となる恐れがあります。やむを得ず段差を乗り越える場合は、ベッドを持ち上げて移動してください。持ち上げる際には、必ずベッド本体を持ってください。





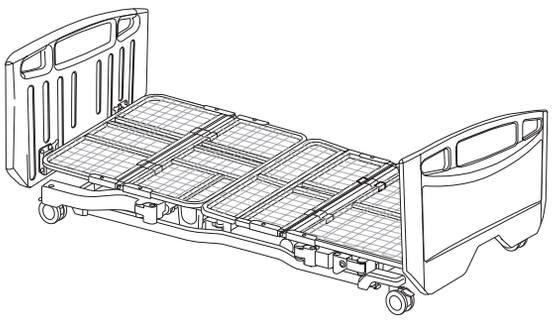
固定脚での移動について

●組み立てが終わった状態で移動する場合、下図の位置を持って移動してください。
●ベッドは約 100kg あります。腰や背中を痛めないよう必ず 2 人以上でおこなってください。
●ヘッドボード、フットボード、サイドレール、マットレスなどを外してください。
●電源プラグを外し、手元スイッチケーブルに注意してください。
●人が乗った状態で、移動をおこなわないでください。
●移動する前にロックプレートと割りピンが確実に取り付けられていることを、必ず確認してください。
（P15 参照）※怪我や事故の原因になります。

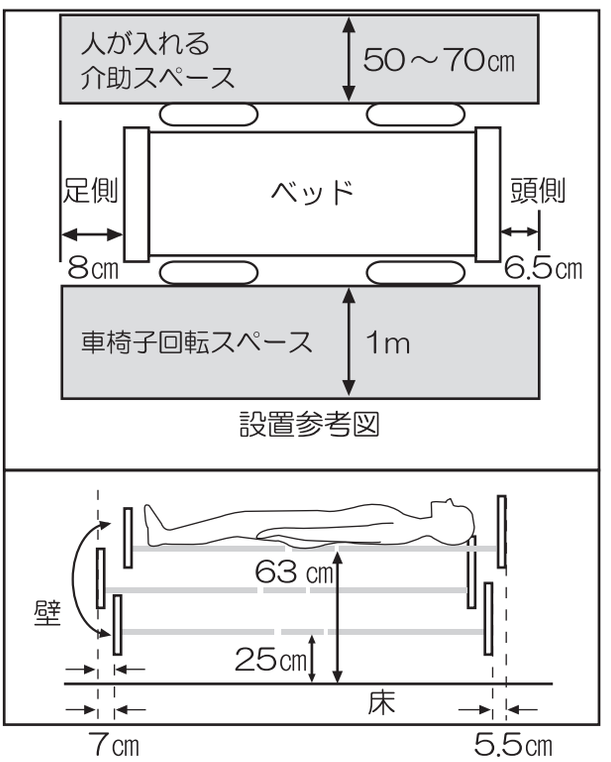


ベッドの設置について

必ず丈夫で水平な床に設置してください。

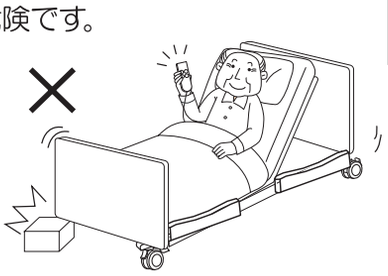


ベッドの重量（マットレスや周辺機器を含む）とご使用される方の総重量に十分耐えられる水平な場所へ設置してください。
※最大利用者体重：138 kg

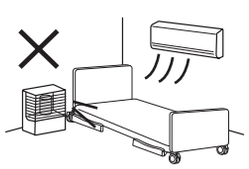


設置参考図

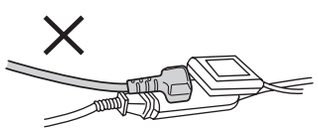
- ベッドの周りはできるだけ広い空間を確保してください。
  - 療養される方のベッドからの移乗や介助する場合のスペースを十分検討して設置してください。
- 電源コンセントの位置から 10 ㎝程度離し、昇降時に電源プラグとベッドが接触しないようにしてください。
- 昇降の際にフットボード側に 7 ㎝程度動きますので、物を置かないようにスペースを確保してください。
- 頭側は壁から 6.5 ㎝以上のスペースをあけてください。
- ベッドの下に物を置かないでください。
  - 昇降時にベッドが破損したり、ベッドが斜めに傾くことがあり危険です。



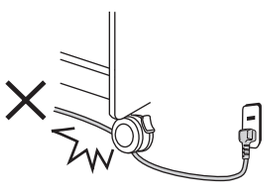
- ストーブや火気のある物などをベッドの近くに設置しないでください。
  - 機器の変形や火災の原因になり非常に危険です。



- 配線器具の定格を超える「蛸足配線」や表示された電圧（100V-240V）以外の電圧では使用しないでください。
  - 火災やモーター故障の原因になります。



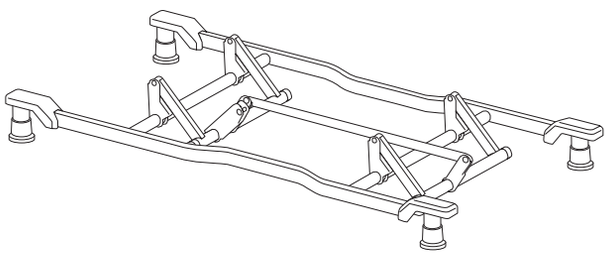
- 電源コードや手元スイッチのコードなどを、引っ張ったり、はさまないようにしてください。
  - 断線が発生し、感電、発火、モーターの故障の原因になります。



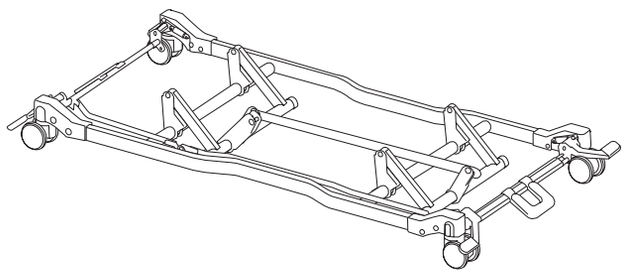
開梱と部品の確認

●商品が到着した時点で、下記の部品がすべて同梱されているか、また、破損していないか確認をしてください。万一、部品の不足や破損があった場合は、販売店または弊社までご連絡ください。

ベースフレーム
PP400-ZAZ-1/4
梱包（1/4）
固定脚

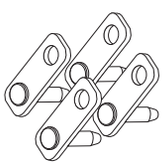


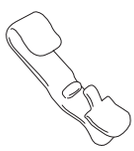
ベースフレーム
PP400-ZBZ-1/4
梱包（1/4）
センターロック




抜け止めピン：１本

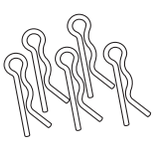

昇降用ピン
（銀色）：１本

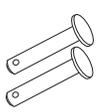

ロックプレート
：４個

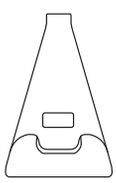

ナースコール
ホルダー


取扱説明書のご案内
〈保証書付〉

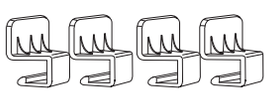

曲げ割りピン：２本


割りピン：５本


ピン：２本

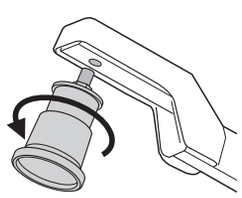

ハルンバッグ用
フック


手元スイッチ
ホルダー

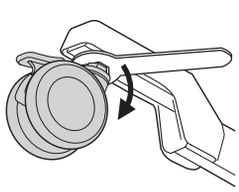

マットレス
ストッパー：４個

「固定脚」ベースフレームに、別梱包の専用キャスターを取り付けて「４輪ロック」にすることができます。必ず、キャスターの取扱説明書をご覧になり、ベースフレームのみの状態で取り付けてください。

❶ 固定脚をベースフレームから取り外してください。

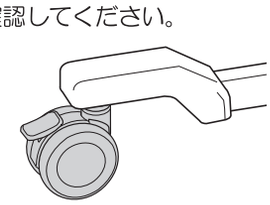


❷ 付属のスパナでベースフレームに４輪ロックキャスターを、しっかり取り付けてください。



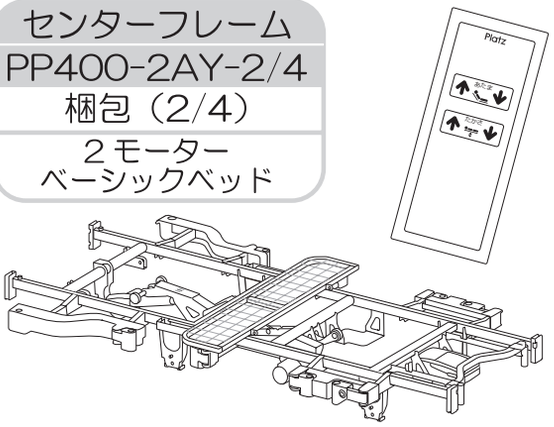
緩みの無いようにしっかり取り付けてください。

❸ 同様に４箇所に取り付けてください。４箇所ともキャスターがしっかり取り付けられているか確認してください。

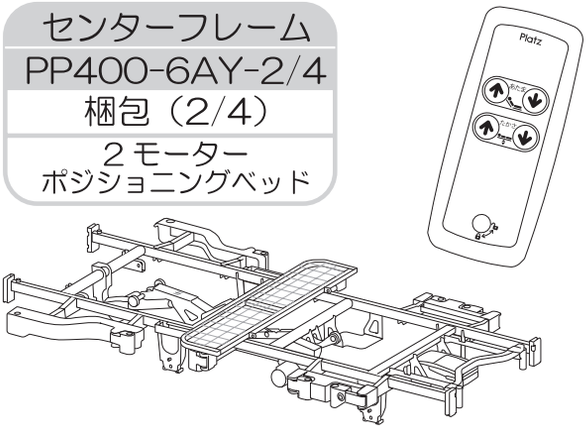


開梱と部品の確認

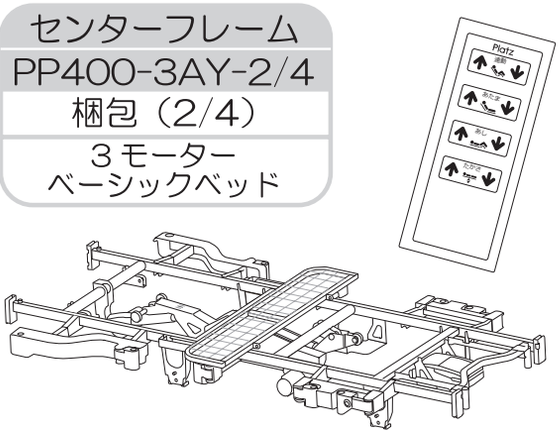
センターフレーム
PP400-2AY-2/4
梱包（2/4）
２モーター
ベーシックベッド



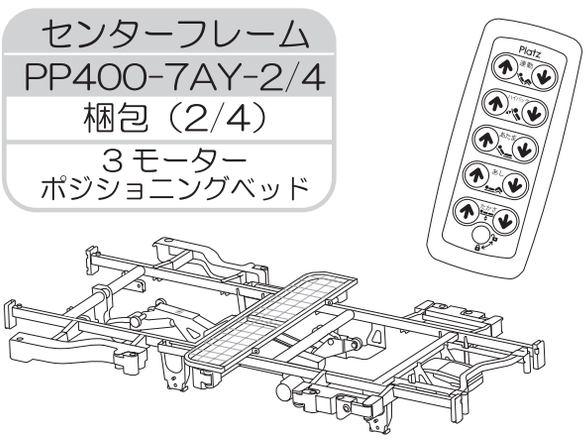
センターフレーム
PP400-6AY-2/4
梱包（2/4）
２モーター
ポジショニングベッド



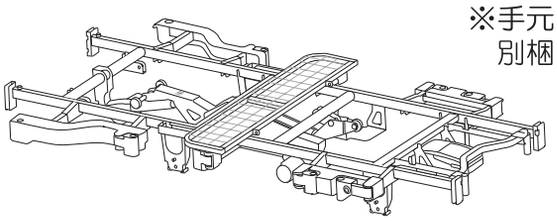
センターフレーム
PP400-3AY-2/4
梱包（2/4）
３モーター
ベーシックベッド



センターフレーム
PP400-7AY-2/4
梱包（2/4）
３モーター
ポジショニングベッド

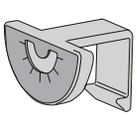


センターフレーム
PP400-7DY-2/4
梱包（2/4）
３モーターポジショニングベッド
（液晶手元スイッチ対応）



※手元スイッチは、
別梱となります。

ボトムセット
PP400-RNZ-3/4
梱包（3/4）
２・３モーター
ベーシックベッド

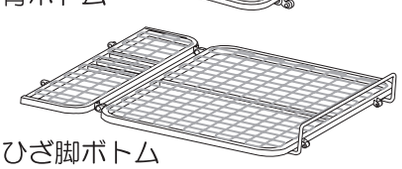


確認：ベーシックベッドとポジショニングベッドで取り付け部のサイズが異なります

角度計



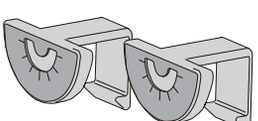
背ボトム

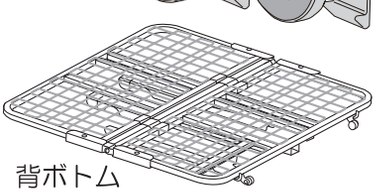


ひざ脚ボトム

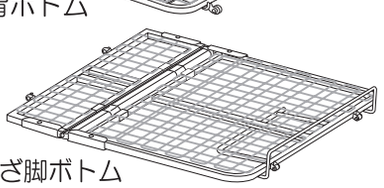
ボトムセット
PP400-RAZ-3/4
梱包（3/4）
２モーター
ポジショニングベッド

角度計





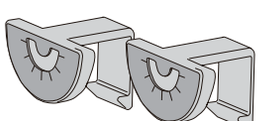
背ボトム

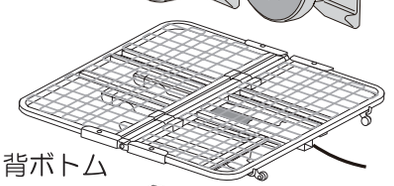


ひざ脚ボトム

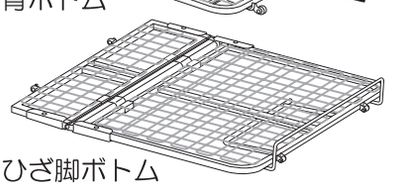
ボトムセット
PP400-RKZ-3/4
梱包（3/4）
３モーター
ポジショニングベッド

角度計





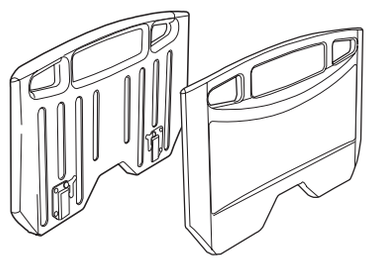
背ボトム



ひざ脚ボトム

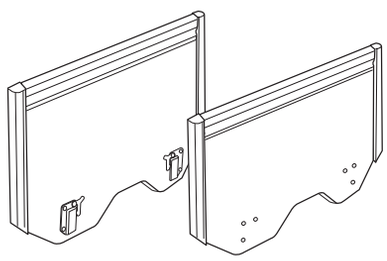
開梱と部品の確認

ボードセット
PP400-ACZ-4/4
梱包（4/4）
樹脂＜木目調＞

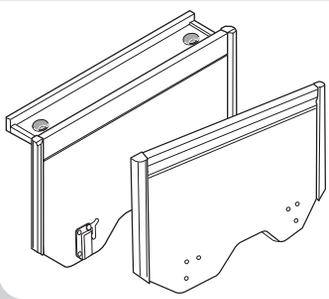


ボードセット
PP400-BFZ-4/4
PP400-BFY-4/4
梱包（4/4）
木製フラット
＜ダークブラウン＞

ボードセット
PP400-CFZ-4/4
PP400-CFY-4/4
梱包（4/4）
木製フラット
＜ライトブラウン＞



ボードセット
PP400-DFY-4/4
梱包（4/4）
木製フラット
＜ミディアムブラウン＞



ボードセット
PP400-BMZ-4/4
PP400-BMY-4/4
梱包（4/4）
木製宮付
＜ダークブラウン＞

ボードセット
PP400-CMZ-4/4
PP400-CMY-4/4
梱包（4/4）
木製宮付
＜ライトブラウン＞

ボードセット
PP400-DMY-4/4
梱包（4/4）
木製宮付
＜ミディアムブラウン＞

液晶手元スイッチ
PR13-3DY
３モーター
ベーシックベッド

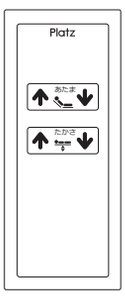
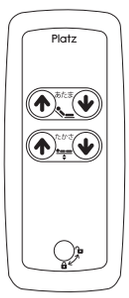
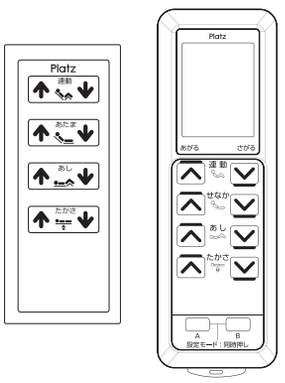
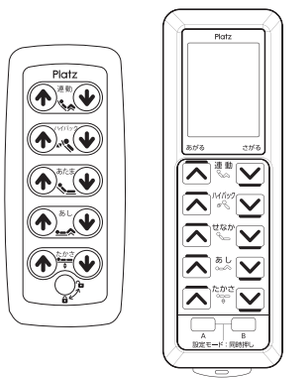


液晶手元スイッチ
PR13-7DY
３モーター
ポジショニングベッド

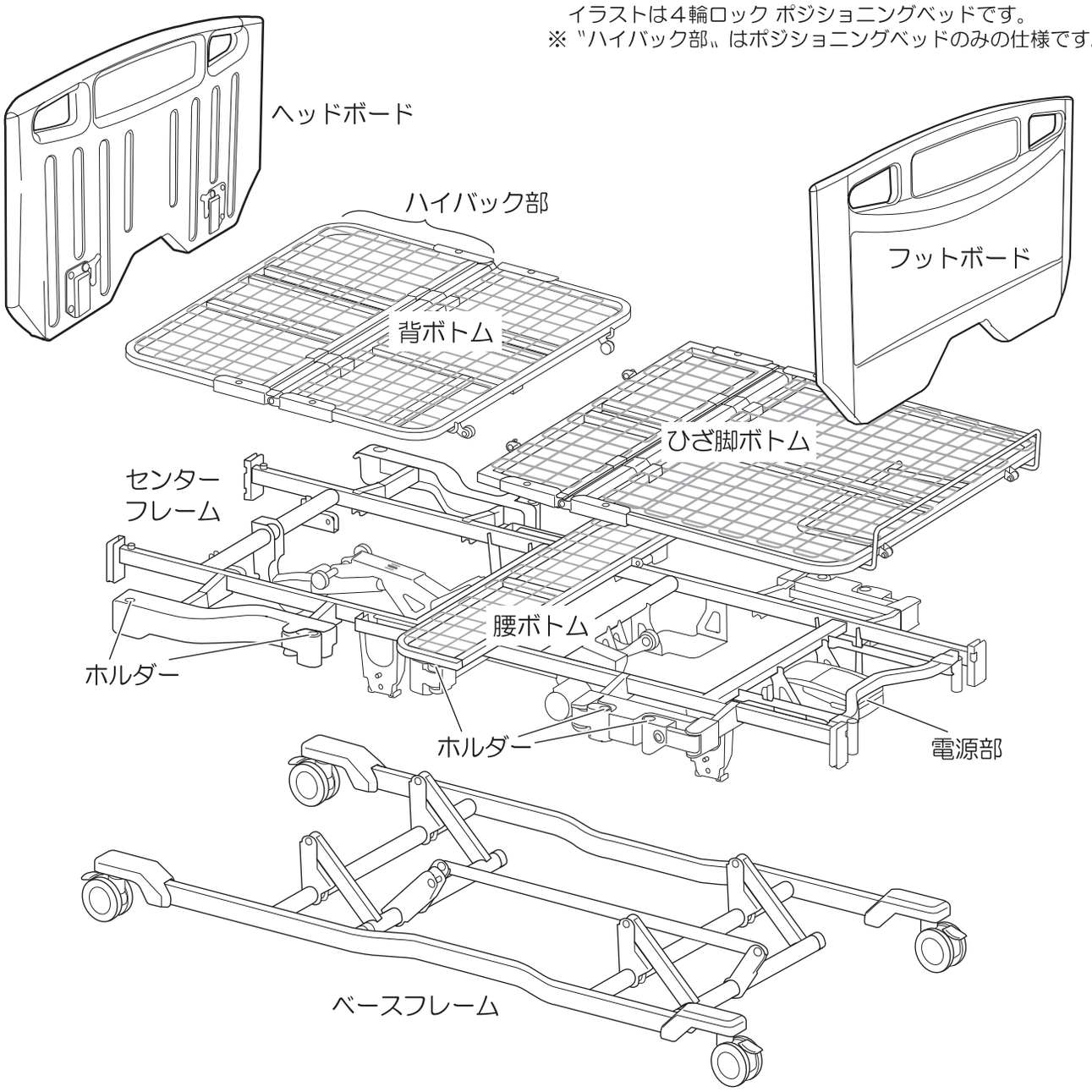


各部の名称

手元スイッチ

対応ベッド	２モーター ベーシック ベッド	２モーター ポジショニング ベッド	３モーター ベーシックベッド	３モーター ポジショニングベッド
手元スイッチ外観				

※仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります。
　イラストは４輪ロック ポジショニングベッドです。
※〝ハイバック部〟はポジショニングベッドのみの仕様です。



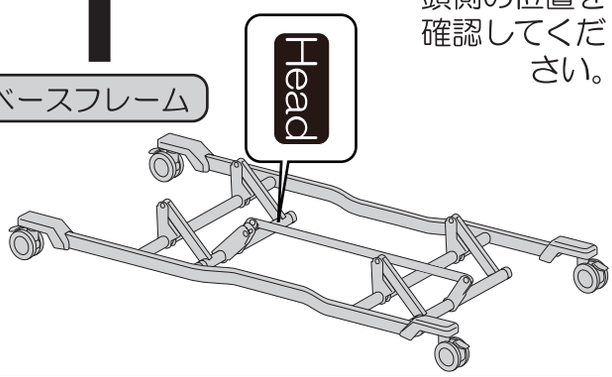
⚠注意 | 組み立ての際に、手や指をはさまないようにご注意ください。

ベッドの組み立てかた

1

ベースフレーム

ベースフレームを準備します。頭側の位置を確認してください。

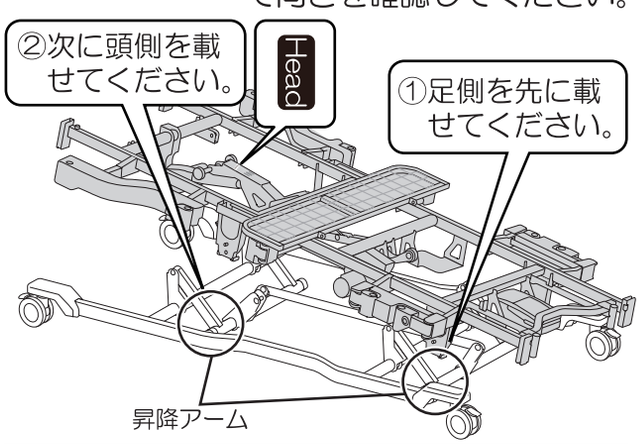


センターフレームの取り付け

2-1

センターフレーム

センターフレームを、ベースフレームの上に取り付けます。下図のようにセンターフレームの足側から先に昇降アームに載せ、次に頭側を昇降アームに載せてください。必ずHeadシールで向きを確認してください。

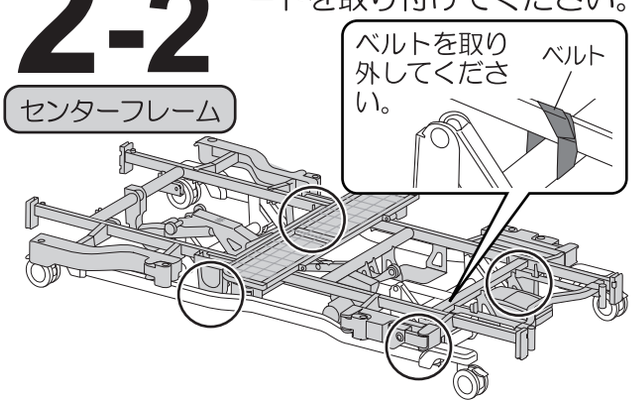


ロックプレートの取り付け

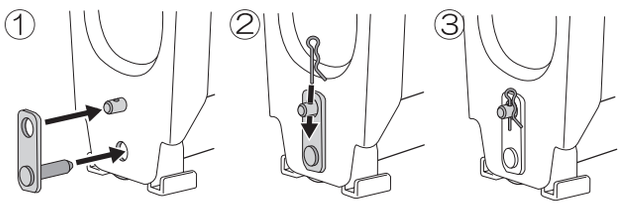
2-2

センターフレーム

下図４箇所に、ロックプレートを取り付けてください。



①ロックプレートを図①のように取り付けます。
②割りピンを挿し込みます。
③４箇所とも図③のように取り付けられていることを確認してください。

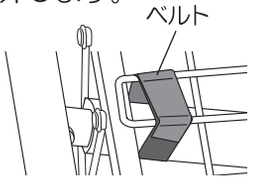


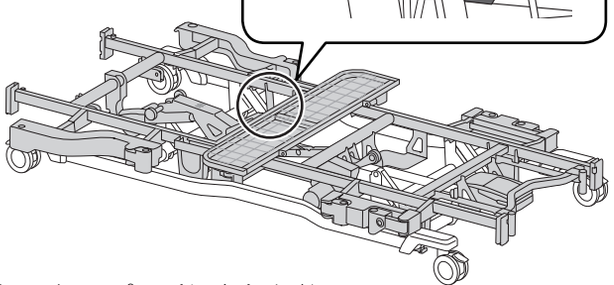
昇降用モーターの取り付け

2-3

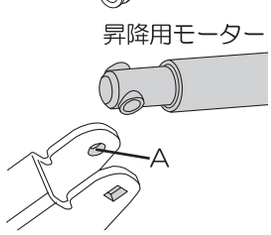
センターフレーム

昇降モーターのベルトを取り外します。

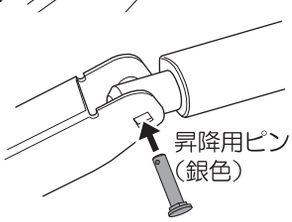




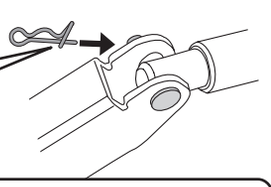
①昇降用ピン（銀色）と抜け止めピンを使用して昇降モーターを取り付けます。ベースフレームのＡ部穴と昇降用モーターの穴位置を合わせてください。



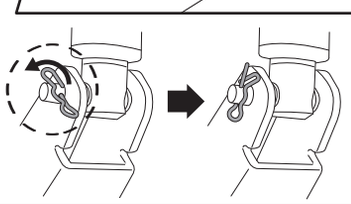
②昇降用ピン（銀色）を挿し込みます。



③抜け止めピンを真横から挿し込んで取り付けます。



矢印方向へ回転させながら抜け止めピンを挿し込んでください。



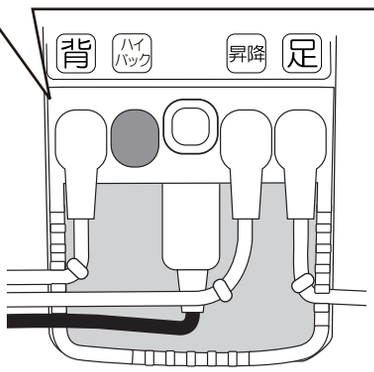
標準手元スイッチ仕様の場合には、P17 の「背ボトムの取り付け」へ進んでください。

液晶手元スイッチの取り付け

3 センターフレームの電源ボックスに、液晶手元スイッチを取り付けます。

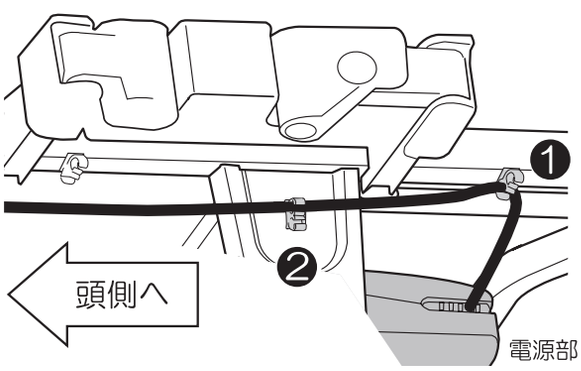
液晶手元スイッチ

プラグを挿し込み、コードは下図のようにして取り付け、電源ボックスの左右のいずれかから取り回してください。



※コード部分は、切り欠き部分にはめ込んでください。

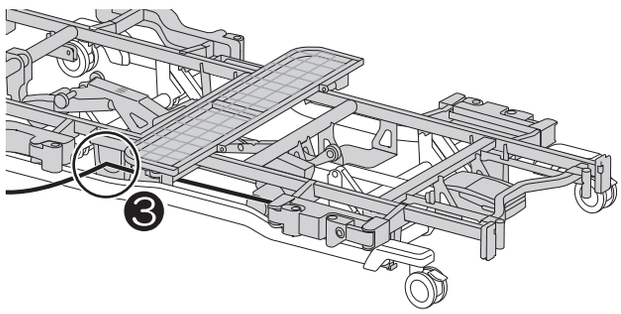
①下図の通り、コードを電源ボックスの左側から取り回す場合には、センターフレームに取り付けられたコードクリップに、❶→❷の順となるように取り付けてください。



※❶と❷に既にモーター用コードが取り付けられている場合には、その内１本をコードクリップから取り外し、手元スイッチ用コードを取り付けて下さい。
コードを反対側から取り回す場合にも、同様に取り付けてください。

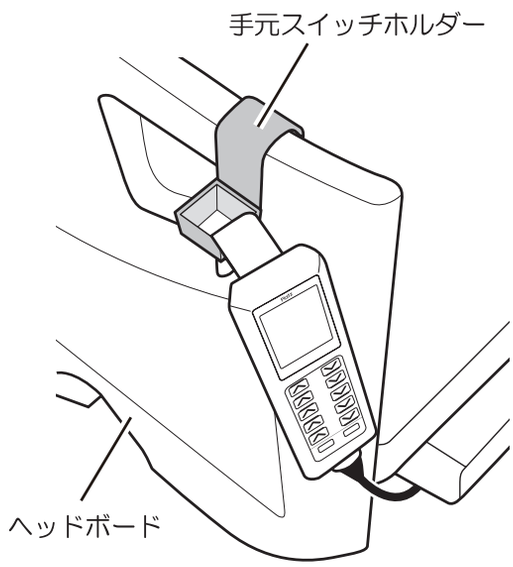
※モータ用コードは、❶および❷から取り外しても、ベッドの動作に支障はありません。

②コードクリップ（黒）の❸にコードを取り付けてください。



※反対方向に取り回す場合には、①②を参照して、同様にコードクリップ（黒）にコードを取り付けてください。

ベッドの組み立て完成後に、液晶手元スイッチをヘッドボードに引っ掛ける場合には、必ずベースフレームに同梱されている、手元スイッチホルダーを使用して、ベッドの外側に引っ掛けてください。（P46 参照）



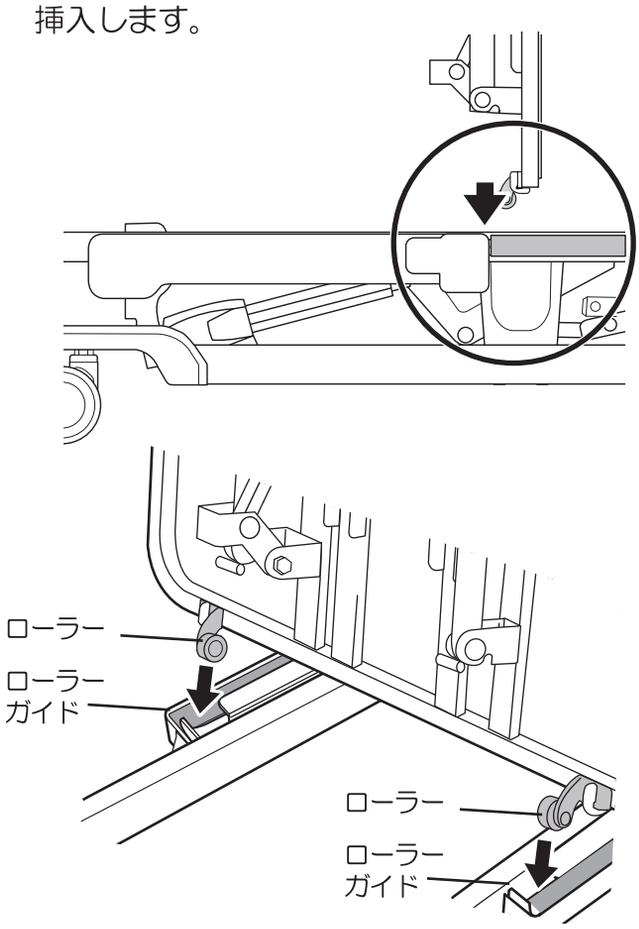
背ボトムの取り付け

4-1

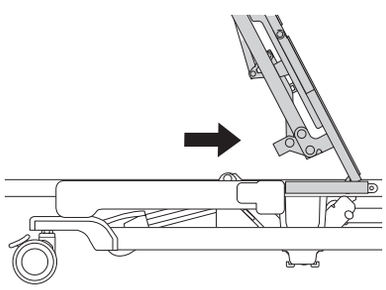
センターフレームに、背ボトムを取り付けます。

背ボトム

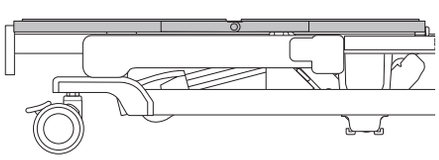
①背ボトムのローラーをローラーガイドに挿入します。



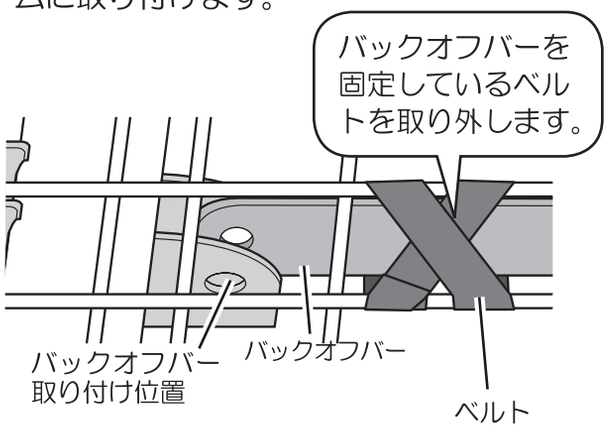
②背ボトムを傾けながら、矢印方向に動かします。



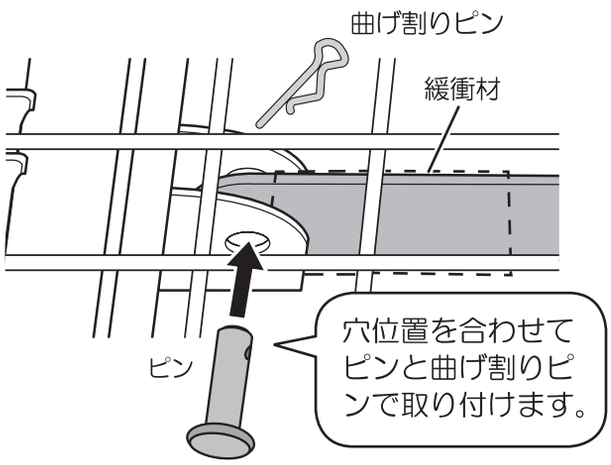
③背ボトムを静かに倒します。



④背ボトムを倒した状態でバックオフバー先端をピンと曲げ割りピンでセンターフレームに取り付けます。



※分解時に必要ですので、外したベルトは保管してください。
バックオフバーを取り外したまま昇降させないでください。



※左右のバックオフバーを２箇所とも、しっかり取り付けてください。

⑤バックオフバー先端の緩衝材を取り外してください。

⚠ 確 認	背ボトムがしっかり取り付けられているか確認してください。

2・3モーターベーシックベッド、2モーターポジショニングベッドはP19の「ひざ脚ボトムの取り付け」「ヘッドボード、フットボードの取り付け」へ進んでください。

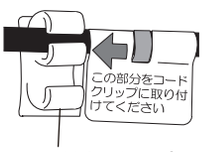
3モーターポジショニングベッドのみハイバック用モーターコードの取り回しが必要です

ハイバック用モーターコードの取り回し

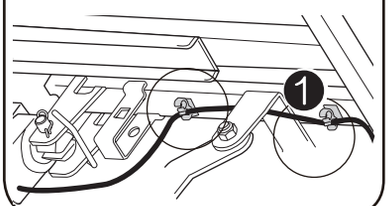
4-2

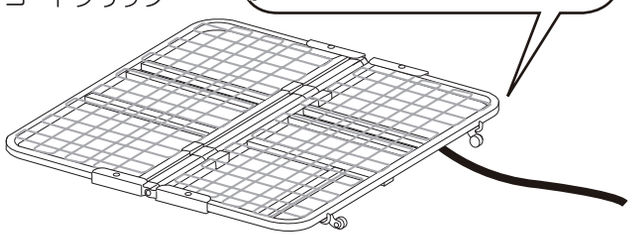
背ボトム

❶：背ボトムの裏側のコードクリップにコードが取り付けられているのを確認してください。



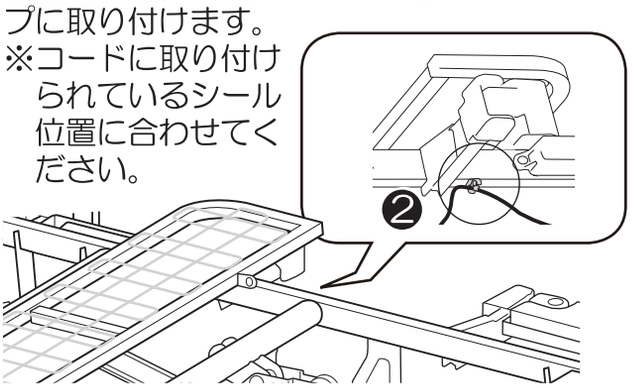
コードクリップ



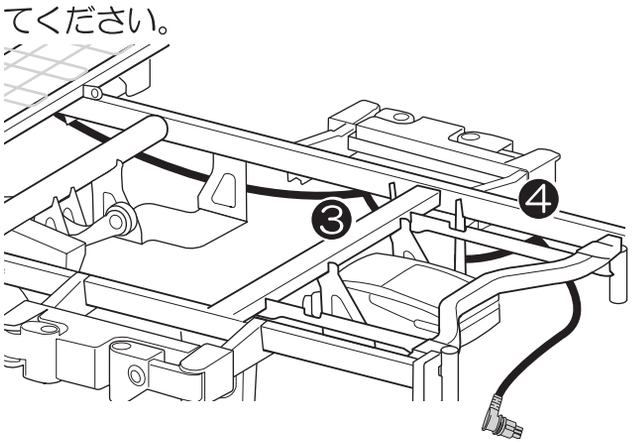


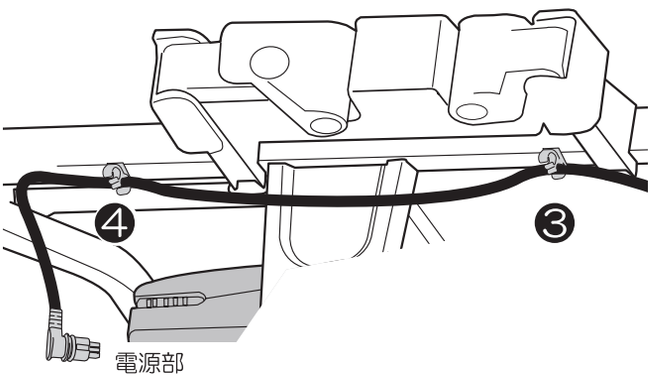
❶が外れている場合は、図のように取り付けてください。その後、コードを❷コードクリップに取り付けます。

※コードに取り付けられているシール位置に合わせてください。

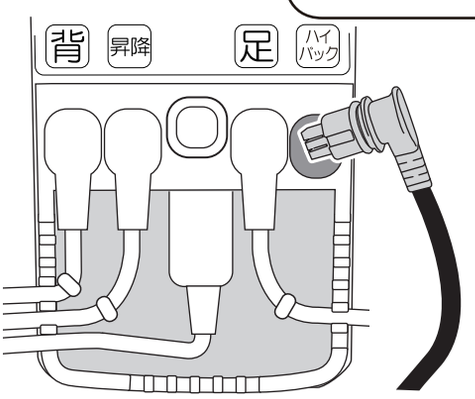


❸→❹のコードクリップにコードを取り付けてください。

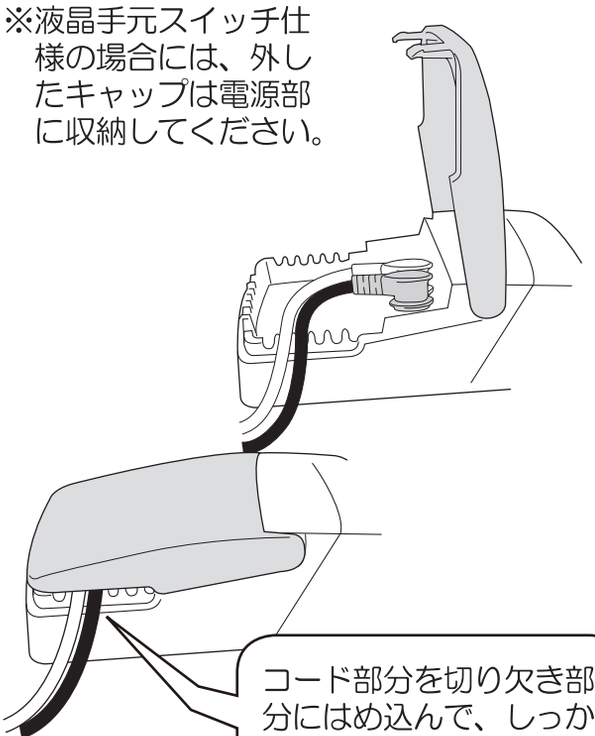




プラグを挿し込み、コード部分はシールを参照にして取り付け、切り欠き部分にはめ込んでください。



※液晶手元スイッチ仕様の場合には、外したキャップは電源部に収納してください。



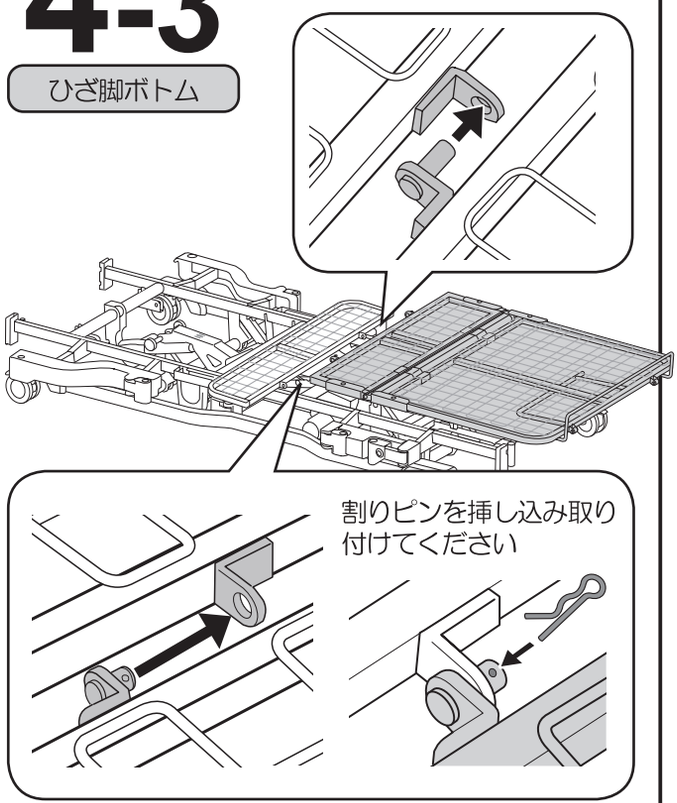
コード部分を切り欠き部分にはめ込んで、しっかりふたを閉じてください。

全機種共通

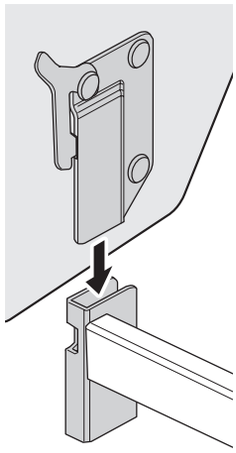
ひざ脚ボトムの取り付け

4-3

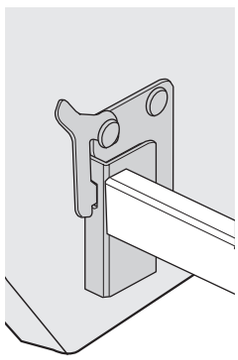
ひざ脚ボトム

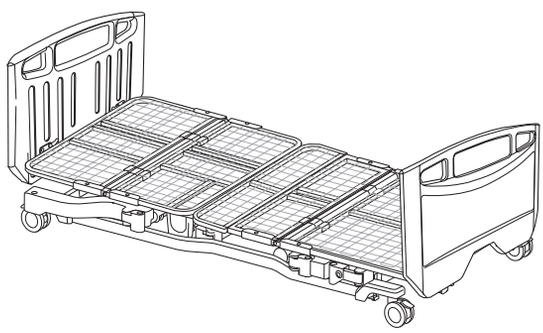


①センターフレームの取り付け金具に真上から挿し込みます。



②反対側も同じように取り付けてください。



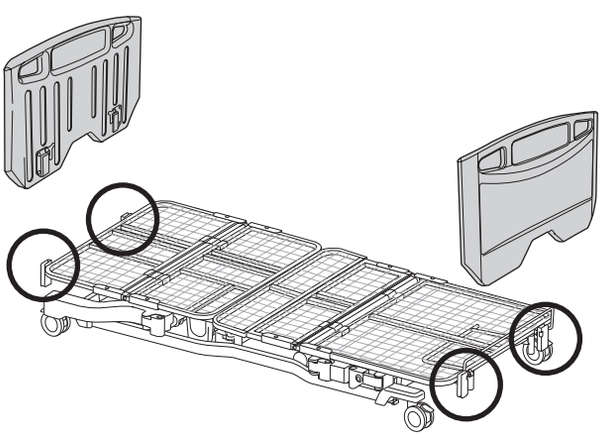


ヘッドボード、フットボードの取り付け

5

ヘッドボード
フットボード

ヘッドボード、フットボードを取り付けます。



確 認

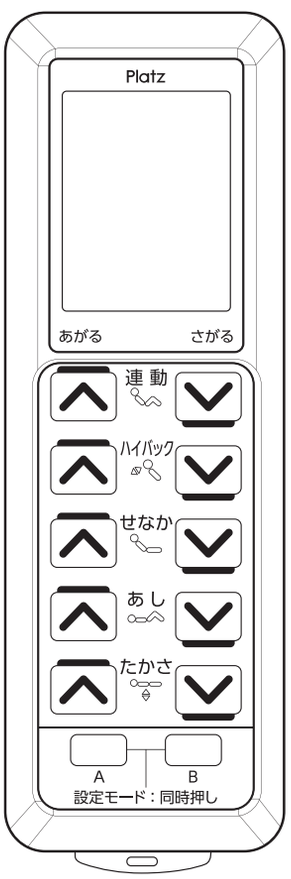
ヘッドボード、フットボードともしっかり取り付けられているか確認してください。

手元スイッチの使いかた

注 意

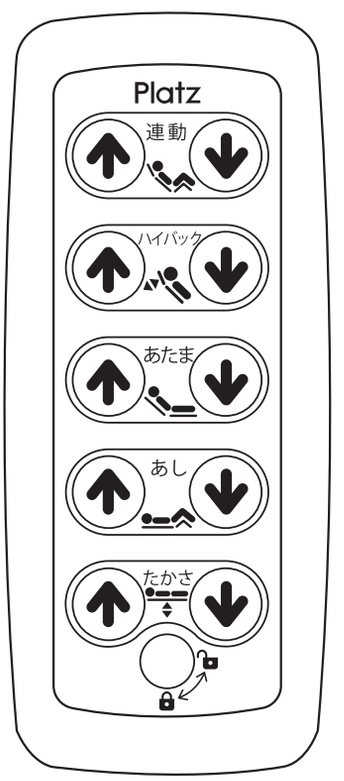
- ベッドには、適合する手元スイッチを取り付けてください。
  適合しない手元スイッチを取り付けると、不意に動作して怪我をしたり、故障したりする原因となります。
- 手元スイッチを取り付ける際は、ベッドの電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
  電源プラグを抜かずにベッドに挿し込むと、意図せぬエラーが発生する場合があります。
- ベッドを一定の期間使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
  誤操作による事故の恐れがあります。

液晶手元スイッチ



- 液晶手元スイッチの使いかたは、
  P21 ～ P33 を参照してください。

標準手元スイッチ

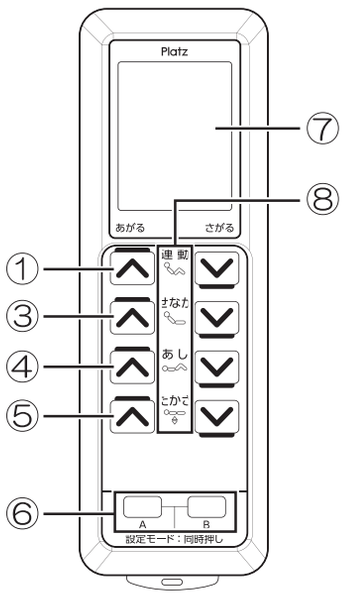
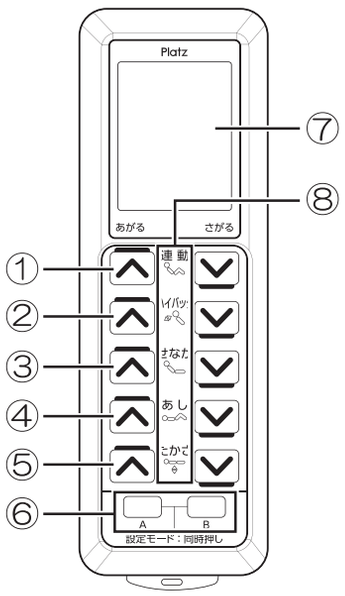


- 標準手元スイッチの使いかたは、
  P34 を参照してください。

※イラストは、３モーターポジショニングベッドの手元スイッチです。

液晶手元スイッチの使いかた

●各部の名称とはたらき

3モーターベーシックベッド	3モーターポジショニングベッド
	
PR13-3DY	PR13-7DY

操作ボタン

●動作させたい部位を上げる場合は ^ ボタン、下げる場合は v ボタンを押し続けることでベッドを操作します。

①連動ボタン

「連動モード」と「メモリーモード」の設定により、設定された動作をおこないます。
※詳細は、P28～P30を参照してください。

②ハイバックボタン

背上部の角度を約20°まで調節できます。

③せなかボタン

背ボトムの角度を約70°まで調節できます。

④あしボタン

ひざボトムの角度を約22°まで調節できます。

⑤たかさボタン

床面高さを25～63㎝まで調節できます。

⑥設定ボタン

設定モードへ切り替えて、各種設定の変更ができます。
※詳細は、P24を参照してください。

⑦液晶表示パネル

動作中のベッドの角度や高さを表示します。また、エラーが発生した場合には、エラー表示がされます。
※詳細は、P22～P23を参照してください。

⑧表示ランプ

操作可能なボタンのLEDランプが点灯します。

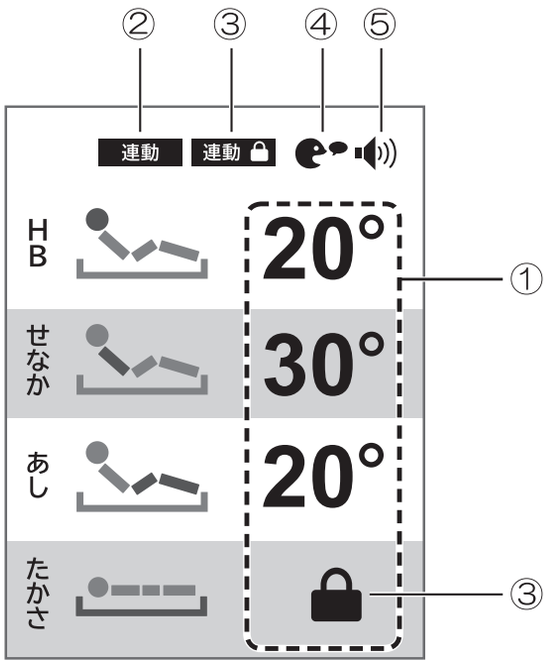
⚠注意

●30秒間操作がないと手元スイッチの電源が「OFF」となります。
いずれかの操作ボタンを押すと電源が「ON」となります。

液晶手元スイッチの使いかた

●液晶表示パネルについて

（※例として、３モーターポジショニングベッドの場合を記載しています。）



①角度 / 高さ表示

ベッドのボトムの角度や高さ位置を表示します。

②連動モード / メモリーモード表示

連動モード時には「 連動 」、メモリーモード時には「 メモリー 」と表示されます。
出荷時には連動モードで設定されています。

③操作ロック表示

操作ロックされているベッドの動作機能に「 🔒 」が表示されています。

④音声表示

操作時の音声の「ON/OFF」を表示します。
「ON」のときは「 」が表示され、「OFF」のときは表示されません。
出荷時には「ON」で設定されています。

⑤操作音表示

操作音の「ON/OFF」を表示します。
「ON」のときは「 」が表示され、「OFF」のときは表示されません。
出荷時には「ON」で設定されています。

液晶手元スイッチの使いかた

●エラー表示

ベッド使用時に異常を検出した場合、下のようなエラー表示が表示されます。
以下に記載した処置や、P40 に記載の処置で解消されない場合は修理をご依頼ください。

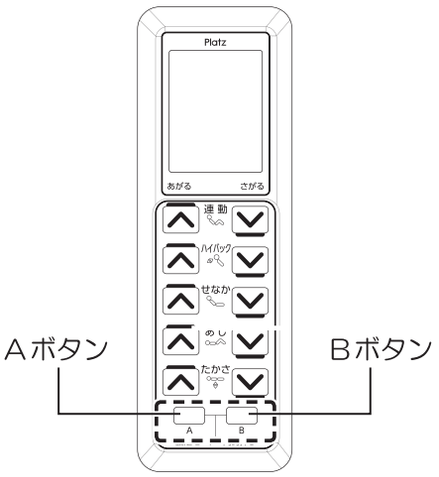
エラーコード	エラー発生原因	処　置
E01	モーターコードの挿し込みが不十分、または断線している	①モーターコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ②モーターコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。
E02	手元スイッチからの動作信号が電源ボックス側でうまく受け取れない	①手元スイッチコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ②手元スイッチコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。 ①②の確認でエラー表示が解消されない場合は、手元スイッチを交換してください。
E03	電源ボックス内部の部品の破損により、正常に動作しない	電源ボックスを交換してください。
E04	モーターを過熱から保護する機能がはたらいている	20 分から 1 時間程度そのままにしておいてください。
E05	角度や高さの検出エラー	表示ランプの LED が点灯しているモーターを最後まで下げてください。
E06	E01 から E05 に含まれないエラーが発生した	販売店または、弊社までご連絡ください。
【その他】 液晶表示パネルが表示されない		①電源プラグをコンセントに挿し込んでください。 ②手元スイッチコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ③電源コードと手元スイッチコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。

液晶手元スイッチの使いかた

●設定モードへの切り替え

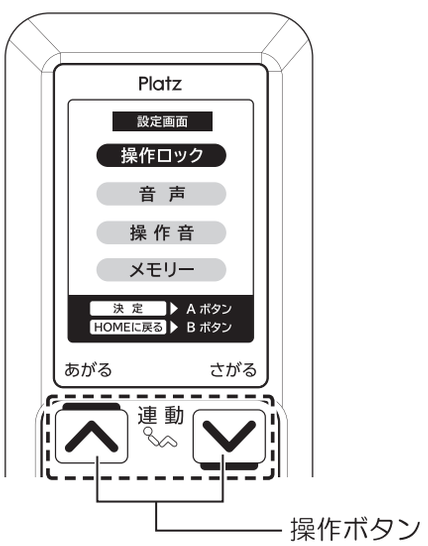
設定モードへ切り替えて、各種設定の変更ができます。
（※例として、３モーターポジショニングベッドの場合を記載しています。）

①



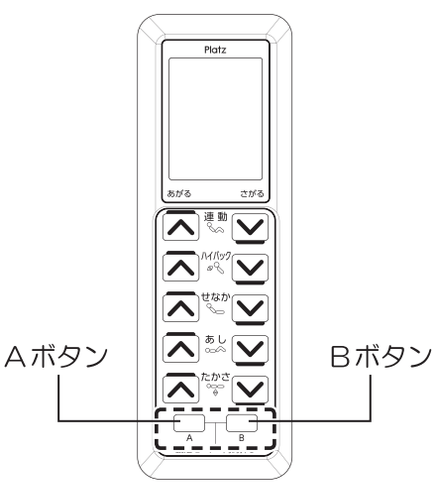
①「Ａ」と「Ｂ」のボタンを、同時に２秒間長押ししてください。

②



② 手元スイッチの最上段の操作ボタン ^ 、v を押すことで、表示画面の選択項目を移動できます。

③



③ 決定の際には「Ａ」ボタン、元の画面に戻る際には「Ｂ」ボタンを押してください。

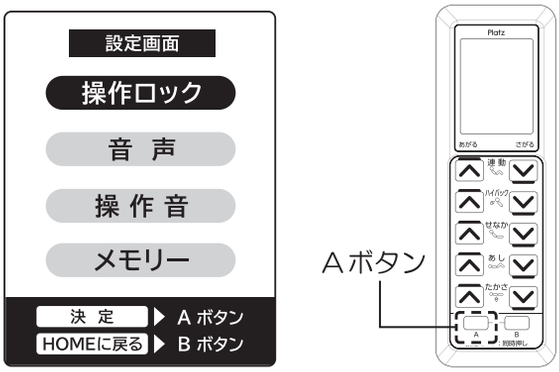
液晶手元スイッチの使いかた

操作ロックの設定

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。

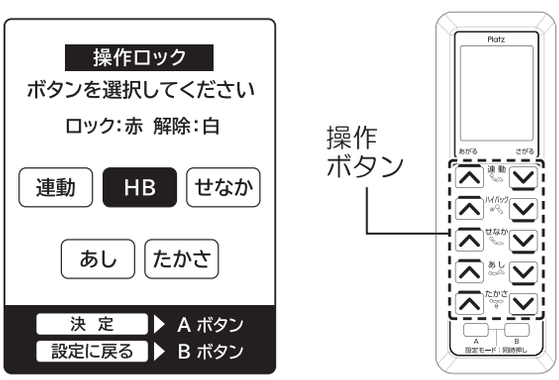
＜設定方法＞（※例として、３モーターポジショニングベッドの場合を記載しています。）

①



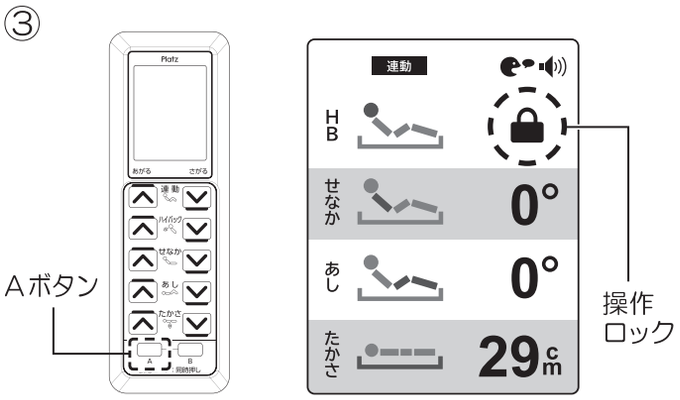
① 設定モードにて **操作ロック** を選択した状態で、「Ａ」ボタンを押してください。

②



② 操作ロックしたい、または操作ロックを解除したい操作ボタン ∧ 、∨ を押してください。
操作ロックしたい機能が赤い表示に切り替わります。

③



※「HB」を操作ロックした際の表示画面

③ 操作ロックの選択が終了後、「Ａ」ボタンを押してください。
操作ロックした機能の表示ランプが消え、表示画面に「 🔒 」が表示されます。

⚠ 確 認

- 操作ロックされたボタンの表示ランプは設定完了後、消灯します。
- HB、せなか、あしのいずれかのボタンを操作ロックした場合でも、「連動」ボタンによるベッドの連動動作時はロックされた機能も動作します。
- 連動ボタンを操作ロックした場合でも、操作ロックしていないHB、せなか、あしのいずれかのボタンによるベッドの操作は可能です。

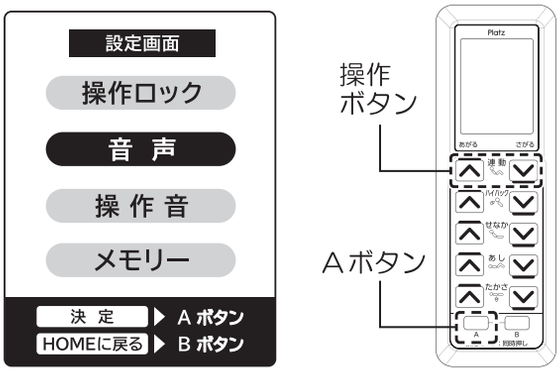
液晶手元スイッチの使いかた

音声の設定

音声案内の「有 / 無」を切り替えることができます。

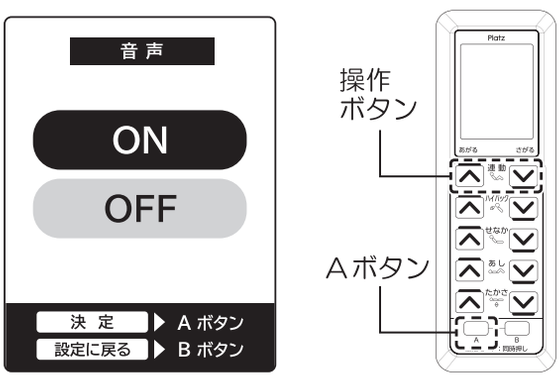
＜設定方法＞（※例として、３モーターポジショニングベッドの場合を記載しています。）

①



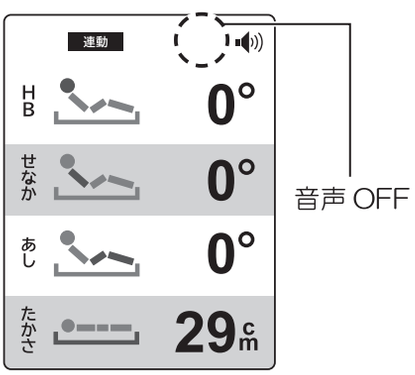
① 設定モードにて
手元スイッチの最上段の操作ボタン
∧ 、∨ を押して表示画面の選択項目を移動させ、音 声 を選択した状態で、「Ａ」ボタンを押してください。

②



② 音声設定画面にて
手元スイッチの最上段の操作ボタン
∧ 、∨ を押して表示画面の選択項目を移動させ ON または OFF を選択した状態で「Ａ」ボタンを押してください。

③



③ 音声「OFF」とした場合、表示画面の「 」が消えます。

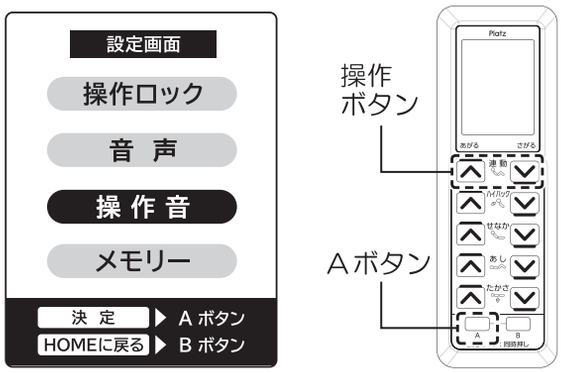
液晶手元スイッチの使いかた

操作音の設定

操作音の「有 / 無」を切り替えることができます。

＜設定方法＞（※例として、３モーターポジショニングベッドの場合を記載しています。）

①

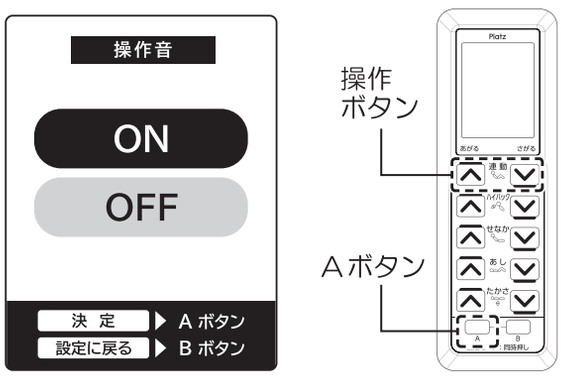


① 設定モードにて
手元スイッチの最上段の操作ボタン

、

を押して表示画面の選択項目を移動させ、操 作 音 を選択した状態で、「Ａ」ボタンを押してください。

②

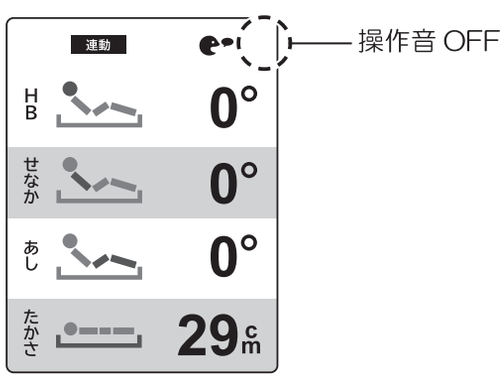


② 操作音設定画面にて
手元スイッチの最上段の操作ボタン

、

を押して表示画面の選択項目を移動させ ON または OFF を選択した状態で「Ａ」ボタンを押してください。

③



③ 操作音「OFF」とした場合、表示画面の「 」が消えます。

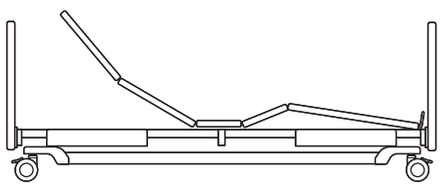
液晶手元スイッチの使いかた

メモリーの設定

登録したベッドポジションに向けて、ベッドのボトム角度を調節します。

＜設定方法＞（※例として、３モーターポジショニングベッドの場合を記載しています。）

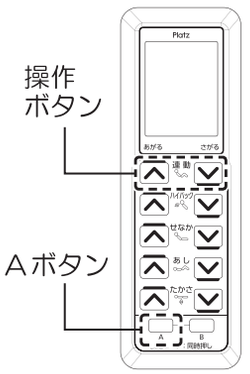
①



① ベッドの角度を調節し、登録したいベッドポジションまで動作させてください。

②

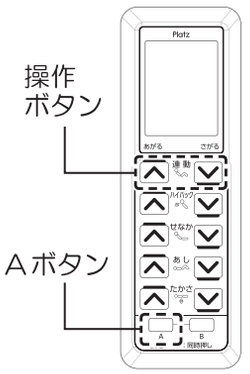




② 設定モードにて
手元スイッチの最上段の操作ボタン
∧ 、∨ を押して表示画面の選択項目を移動させ、メモリー を選択した状態で、「Ａ」ボタンを押してください。

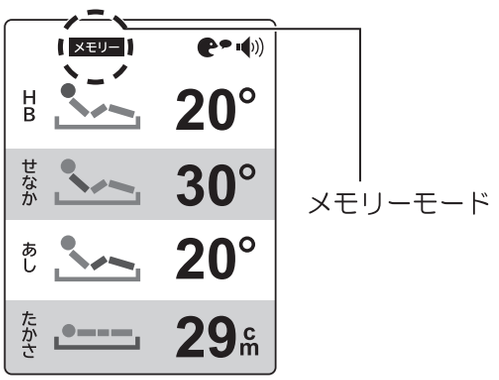
③





③ メモリー設定画面にて
手元スイッチの最上段の操作ボタン
∧ 、∨ を押して表示画面の選択項目を移動させ 設定する を選択した状態で「Ａ」ボタンを押してください。

④



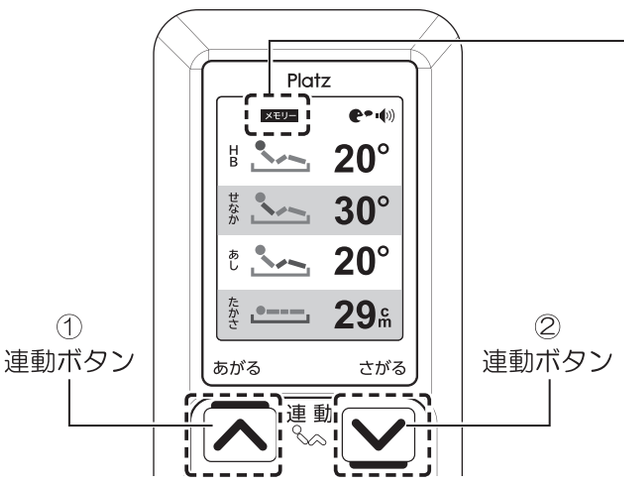
④「上記①」で設定したメモリーポジションの登録が完了し、連動モードから「メモリーモード」に設定が切り替わります。

⚠ 確 認 | 高さ位置の登録はできません。

液晶手元スイッチの使いかた

メモリーモード時の連動動作

登録したポジションに向けて、ベッドのボトム角度を調節します。



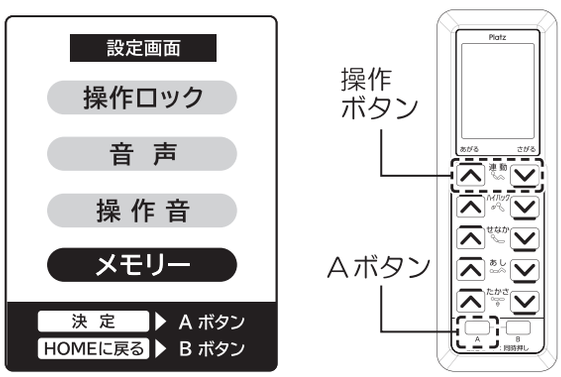
メモリーモード時は メモリー が表示されています。

① 連動ボタンの ∧ を押し続けることで、あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて動作します。

② 連動ボタンの ∨ を押し続けることで、すべてのボトムの角度を一斉に下げることができます。

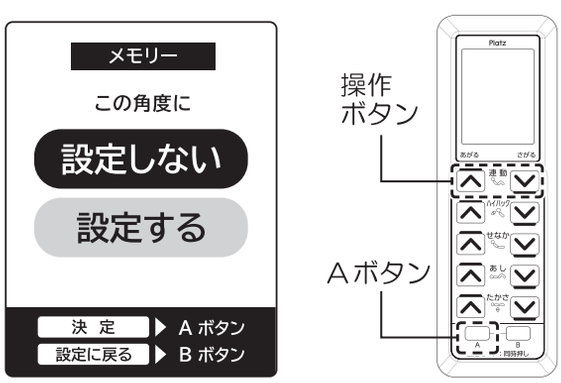
メモリーの解除

①



① 設定モードにて
手元スイッチの最上段の操作ボタン ∧ 、∨ を押して表示画面の選択項目を移動させ、 メモリー を選択した状態で、「Ａ」ボタンを押してください。

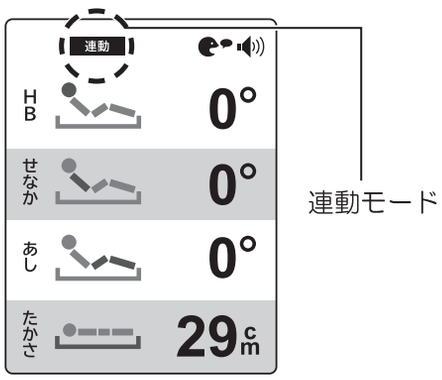
②



② メモリー設定画面にて
手元スイッチの最上段の操作ボタン ∧ 、∨ を押して表示画面の選択項目を移動させ 設定しない を選択した状態で「Ａ」ボタンを押してください。

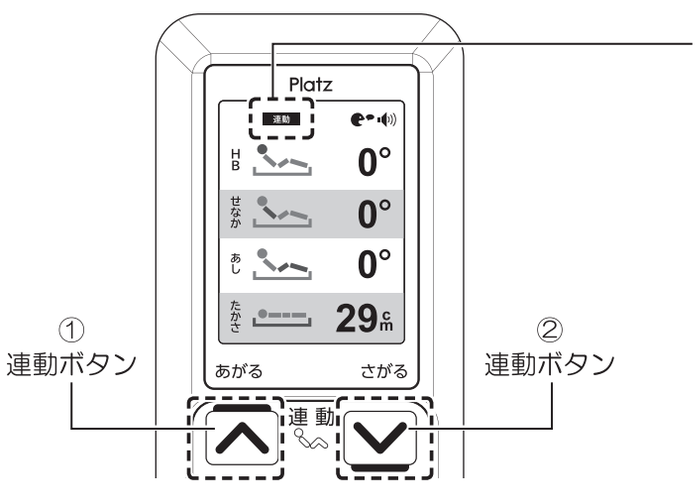
液晶手元スイッチの使いかた

③



③ メモリーモードから「連動モード」に設定が切り替わります。
同時に登録されていたメモリーポジションが解除されます。

連動モード時の連動動作



連動モード時は 連動 が表示されています。

① 連動ボタンの ∧ を押し続けることで、各ボトムが連動し背上げをおこないます。

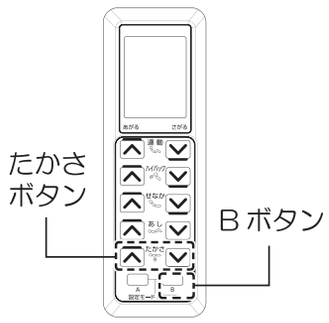
② 連動ボタンの ∨ を押し続けることで、各ボトムが連動し背下げをおこないます。

液晶手元スイッチの使いかた

昇降動作時のブーストモードの操作方法

緊急時や一時的にベッドの高さを早く上げたい / 下げたい場合に、ベッドの昇降動作を速めることができます。

＜操作方法＞



たかさボタン ∧ 、∨ を押しながら、「B」ボタンを押している間だけ、ベッドの昇降動作を速めることができます。

確認

- 一時的にモーターの動作を速める機能であるため、連続で使用すると、故障や異音発生の原因となります。必要な場面での使用のみとして、十分な間隔を空けてからの使用としてください。
  ※「E04」の表示がされた場合には、モーターの動作を停止して、復旧するまでお待ちください。（詳細は、P23 を参照）
- ブーストモードを使用できる機能は、「たかさ」ボタンのみです。それ以外のボタンでは使用できません。

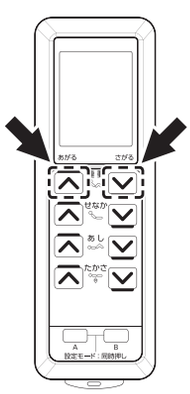
エラーコード「E01」発生時の対応方法 ＜リセット＞

エラーコード「E01」発生時にモーターコードを正しい位置に、しっかりと奥まで挿し込んでも、エラーが解消されない場合には、下記に記載の「リセット」をおこなってください。

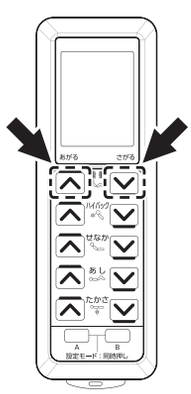
＜操作方法＞

電源ボックスのモーターコードの挿し込み位置が正しいことを確認して、しっかり奥まで挿し込んでください。その後、手元スイッチの最上段の「あがる」「さがる」ボタンを同時に長押ししてください。約５秒間ブザーが鳴り、ブザーが鳴り終わるとリセット完了です。

※エラーコード「E05」の表示がされた場合には、表示ランプの LED が点灯しているモーターを最後まで下げてください。



３モーター ベーシックベッド



３モーター ポジショニングベッド

液晶手元スイッチの使いかた

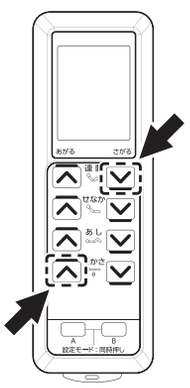
ベッドの設定の初期化

現状のベッドの設定（ 操作ロック、音声、操作音、リクライニングメモリー、高さメモリー、オプション登録 ）をすべて解除して、初期化します。

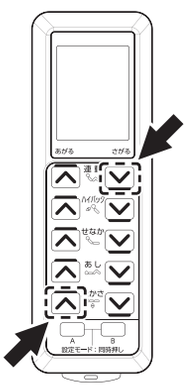
＜ 操作方法 ＞

手元スイッチの最上段の「さがる」ボタンと、最下段の「あがる」ボタンを同時に長押ししてください。

約３秒後にブザーが鳴りながらモーターが縮み始め、すべてのモーターが最後まで縮むと長いブザーが鳴り停止し、初期化完了です。



３モーター ベーシックベッド



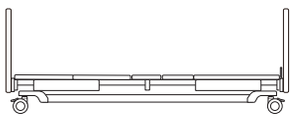
３モーター ポジショニングベッド

出荷時の初期状態

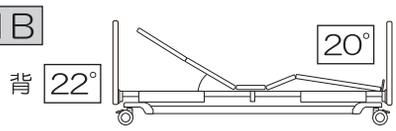
設　定	状　態
操作ロック	すべての操作が可能
音声	ON
操作音	ON
リクライニングメモリー	設定なし
高さメモリー	設定なし
オプション登録	標準（ 固定脚 ）

液晶手元スイッチ使用時の３モーターベーシックベッドの連動動作

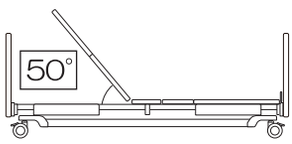
図Ａ



図Ｂ

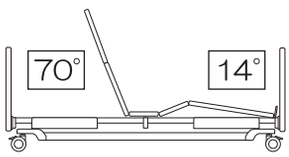


図Ｃ



ブザー音が鳴り、１秒間停止

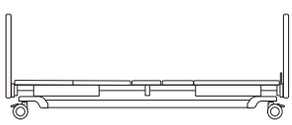
図Ｄ



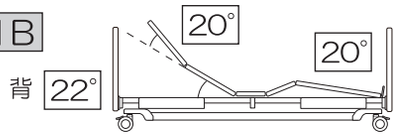
背を上げる場合	背を下げる場合
連動ボタン ∧ を押し続けることにより ①背が上がり始め、ひざが 20° になるまで上がります。（図Ｂ） ②その後、ひざが下がり始めます。 ※図Ｃの位置でブザー音が鳴り、１秒間停止します。 ③さらに背が上がり始め、背が 70°、ひざが 14° の位置で停止します。（図Ｄ）	連動ボタン ∨ を押し続けることにより ①背が下がり始め、ひざが 22° まで上がり始めます。 ②ひざが 22° になった後、ひざが下がり始めます。 ③すべてのボトムが水平になります。（図Ａ）

液晶手元スイッチ使用時の３モーターポジショニングベッドの連動動作

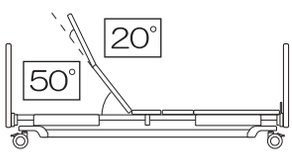
図Ａ



図Ｂ

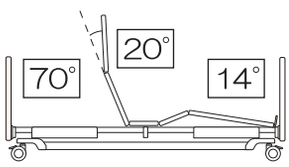


図Ｃ



ブザー音が鳴り、１秒間停止

図Ｄ

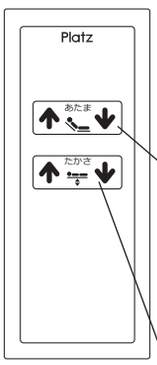


背を上げる場合	背を下げる場合
連動ボタン ∧ を押し続けることにより ①背が上がるとともに、ハイバックが 20°、ひざが 20° になるまで上がります。（図Ｂ） ②その後、ひざが下がり始めます。 ※図Ｃの位置でブザー音が鳴り、１秒間停止します。 ③さらに背ひざが上がり始め背が 70°、ひざが 14° の位置で停止します。（図Ｄ）	連動ボタン ∨ を押し続けることにより ①背とハイバックが下がり始め、ひざが 22° まで上がり始めます。 ②ひざが 22° になった後、ひざが下がり始めます。 ③すべてのボトムが水平になります。（図Ａ）

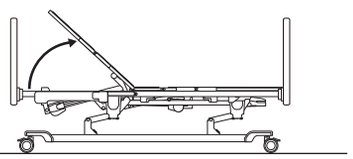
標準手元スイッチの使いかた

●ベッドの背ボトムの角度やベッド全体の高さを手元スイッチ操作で無段階に調節できます。
手元スイッチのボタンを押すと作動し、ボタンを離すとその位置で停止します。
使いやすい位置まで作動させてベッドをお使いください。

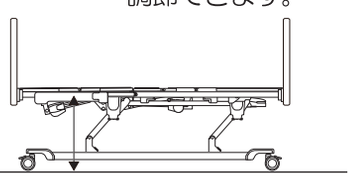
2モーターベーシックベッド



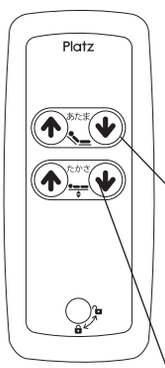
あたまボタン 背ボトムの角度を約 70°・ひざ角度を最大約 22°まで無段階に調節できます。
※ライジングモーションについては P35 をご参照ください。



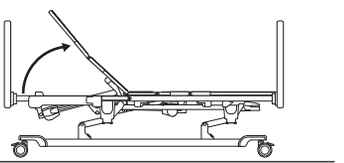
たかさボタン 床面高さを 25～63 ㎝まで無段階に調節できます。



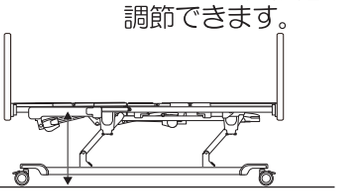
2モーターポジショニングベッド



あたまボタン 背ボトムの角度を最大約 70°、背上部の角度を最大約 20°・ひざ角度を最大約 22°まで無段階に調節できます。
※ライジングモーションについては P35 をご参照ください。

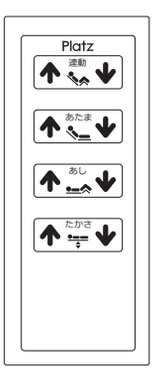


たかさボタン 床面高さを 25～63 ㎝まで無段階に調節できます。



3モーターベーシックベッド

連動ボタン
背上げ・ひざ上げの連動ができます。



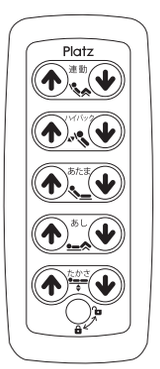
あたまボタン
背ボトムの角度を約 70°まで無段階に調節できます。

あしボタン
ひざボトムの角度約 22°まで無段階に調節できます。

たかさボタン
床面高さを 25～63 ㎝まで無段階に調節できます。

3モーターポジショニングベッド

連動ボタン
背上げ・ひざ上げ・ハイバックの連動ができます。



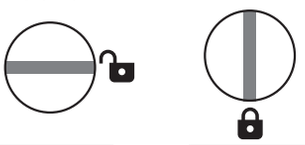
あたまボタン
背ボトムの角度を約 70°まで無段階に調節できます。

ハイバックボタン
背上部の角度を約 20°まで無段階に調節できます。

あしボタン
ひざボトムの角度約 22°まで無段階に調節できます。

たかさボタン
床面高さを 25～63 ㎝まで無段階に調節できます。

ロックボタン ロックボタンを「硬貨」などで回転させると手元スイッチの操作をロックできます。（ポジショニングベッドのみ）



警告

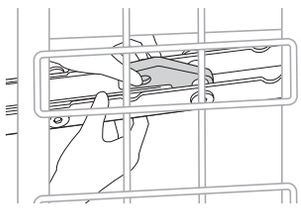
- ベッドを一定の期間使用しない場合や、介助者が長時間ベッドから離れる場合は電源プラグを抜いてください。誤操作による事故の恐れがあります。
- 操作は必ずベッドに寝た状態でおこなってください。ベッドに立った状態や座った状態での操作は怪我をする恐れがあり危険です。
- 2つ以上のボタンを同時に押さないでください。手元スイッチやモーターの故障の原因になります。

ライジングモーションについて

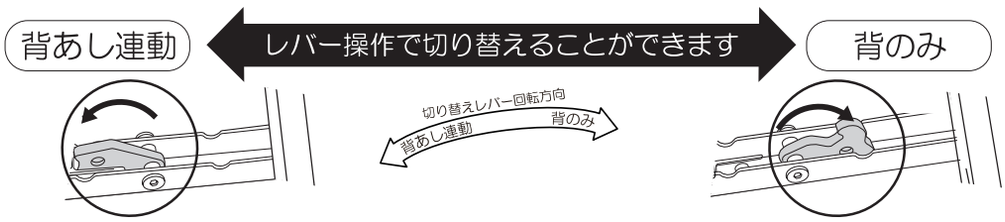
ライジングモーションの説明（２モーターベーシックベッド / ２モーターポジショニングベッド）

ライジングモーションの目的	※どの角度においても背とひざの角度は 90° 以上のため、腹部圧迫を軽減します ※背ボトムとひざボトムを連結させてリクライニング動作で背上げ時のお尻のずれを防止します。

背あし連動 / 背のみ の切り替え

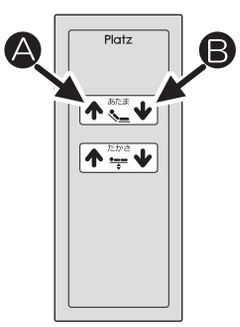


①手元スイッチを使い背ボトム、ひざ脚ボトムを完全に下げます。
②電源コードを抜きます。
③腰ボトム下に〝背ひざ連結レバー〟があります。
④「背あし連動」か「背のみ」を選び、つまんだレバーが止まるまで倒します。



⑤電源コードを挿してください。
⑥手元スイッチを操作し、正しく切り替えられたか確認してください。

標準手元スイッチ使用時の２モーターベーシックベッドの連動動作



背を上げる場合	背を下げる場合
Ⓐを押し続けることにより ①背、ひざ が上がり始めます。 ②背が 30°、ひざが 22° になるまで上がり続けます。（図 B） ③背が上がり続けます。（図C） ④背が 70° まで上がり、ひざは水平になります。（図D）	Ⓑを押し続けることにより ①背が下がり、ひざが上がり始めます。（図 C） ②背が 30° になるまで下がり、ひざが 22° になるまで上がります。（図 B） ③背が下がります。 ④背とひざが水平になります。（図 A）

図 A

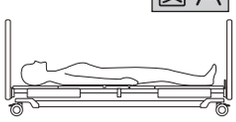


図 B

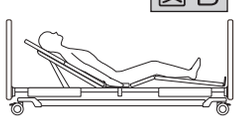


図 C

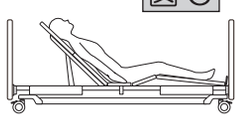
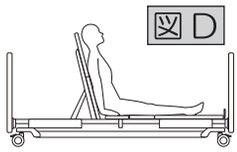
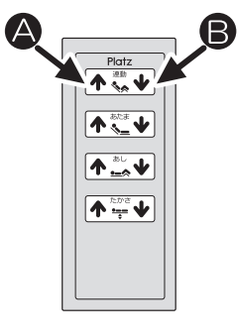


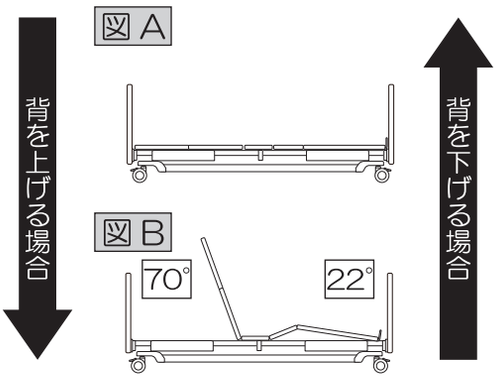
図 D



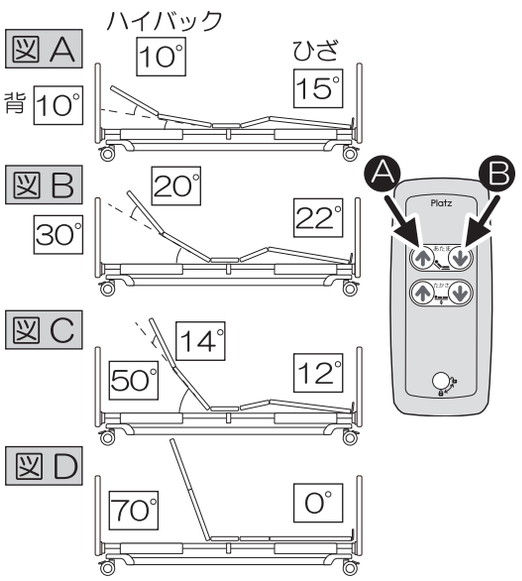
標準手元スイッチ使用時の３モーターベーシックベッドの連動動作

背を上げる場合	背を下げる場合
連動ボタン Ⓐ を押し続けることにより ①背とひざが同時に上がり始めます。 ②背が 70° になります。（図 B）	連動ボタン Ⓑ を押し続けることにより ①背とひざが同時に下がり始めます。 ②背とひざが水平になります。（図A）





標準手元スイッチ使用時の２モーターポジショニングベッドの連動動作

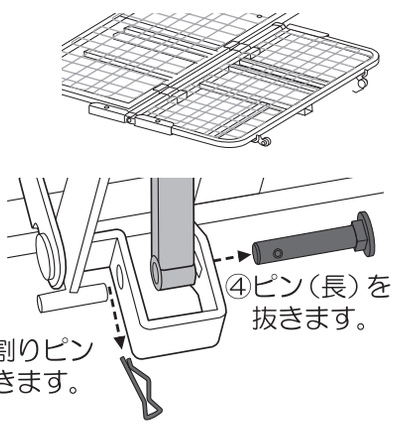


背を上げる場合	背を下げる場合
あたまボタン Ⓐ を押し続けることにより ①ハイバックと背とひざが上がり始めます。（図 A） ②背が上がるとともにハイバックが 20°、ひざが 22° になるまで上がります。（図 B） ③その後、ひざが下がり始めハイバックも下がり始めます。（図 C） ④ひざとハイバックが 0° になり背が 70° になります。（図D）	あたまボタン Ⓑ を押し続けることにより ①背が下がり始め、次にハイバックとひざが上がり始めます。（図C） ②背が下がるとともにハイバックが 20°、ひざが 22° になるまで上がります。（図 B） ③ハイバック、ひざが下がり始めます （図 B） ④ハイバック、背、ひざが水平になります。（図A）

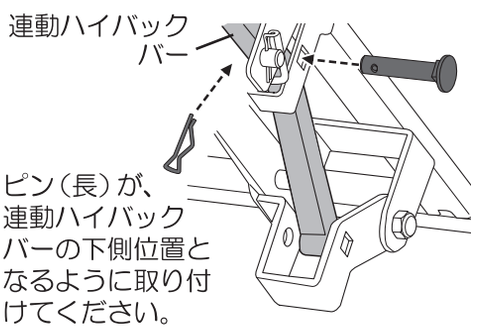
※ハイバックの角度は背ボトムを基準にしたものです。

連動ハイバック機能の連動解除（2 モーターポジショニングベッド）

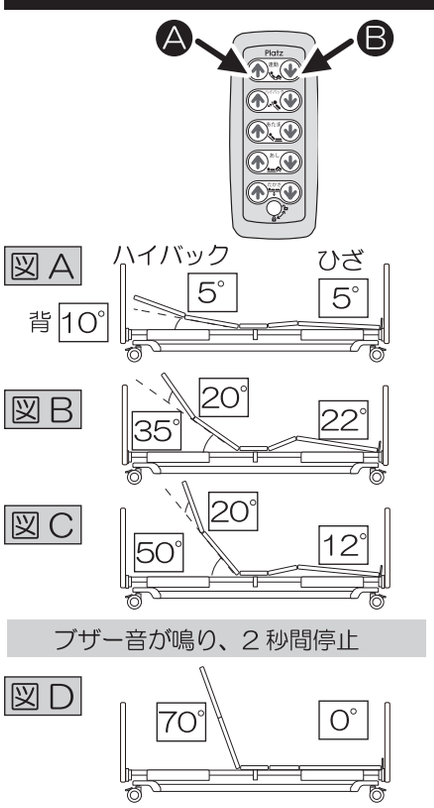
①手元スイッチを使い背ボトム、ひざ脚ボトムを完全に下げます。
②電源コードを抜きます。
③背ボトムを立ち上げて曲げ割りピンを抜きます。
④背ボトムを立ち上げてピン（長）を抜きます。



※取り外したピン（長）と曲げ割りピンは下記に取り付けて保管してください。



標準手元スイッチ使用時の ３モーターポジショニングベッドの連動動作



背を上げる場合	背を下げる場合
連動ボタン Ⓐ を押し続けることにより ①ハイバックと背とひざが上がり始めます。（図 A） ②背が上がるとともにハイバックが 20°、ひざが 22° になるまで上がります。（図 B） ③その後、ひざが下がり始めます。 ※図 C の位置でブザー音が鳴り、２秒間停止します。 ④ひざとハイバックが 0° になり背が 70° になります。（図D）	連動ボタン Ⓑ を押し続けることにより ①背が下がり始め、ハイバックとひざが上がり始めます。 ②背が下がるとともにひざが 22° になるまで上がります。（図 B） ③ハイバックと背とひざが下がり続けます。（図 A） ④ひざが水平になります。

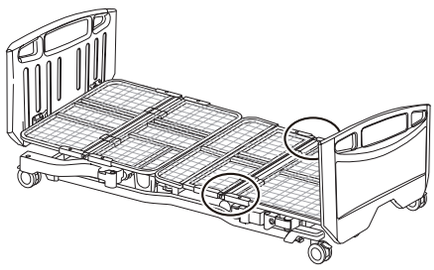
※ハイバックの角度は背ボトムを基準にしたものです。

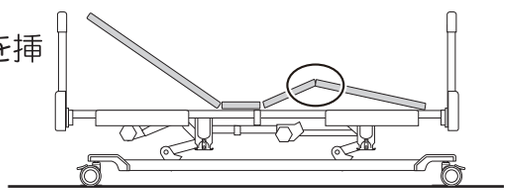
フィッティングバーの設定（ポジショニングベッドのみ）

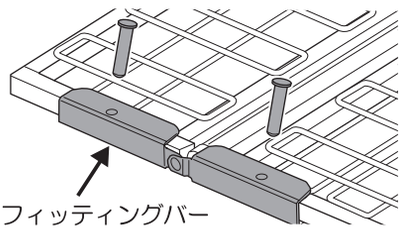
フィッティングの目的　利用者のひざの位置に合わせて、脚ボトムを２段階に調整することができるため、ベッド上でのずれを軽減します。

フィッティングバーの調節方法

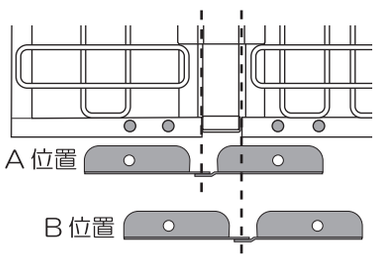
①両側のフィッティングバーのピンそれぞれ２本を上に外します。
②Ａ位置、Ｂ位置のいずれかを選び、フィッティングバーをスライドさせて穴位置を合わせます。
③それぞれ２箇所にピンを挿入します。



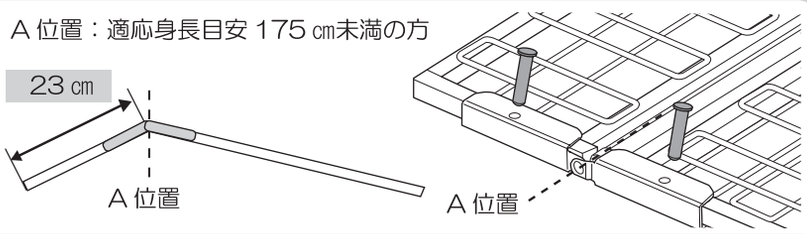




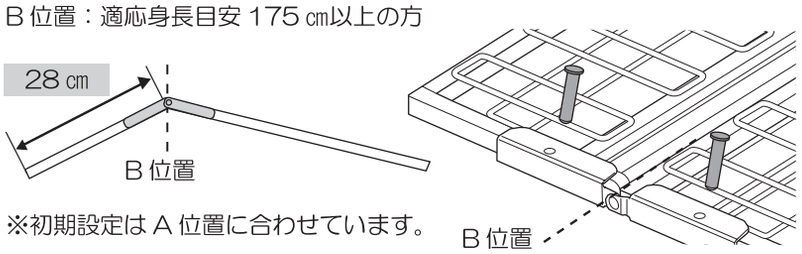
※フィッティングバーの間接部を下図の位置に合わせてください。



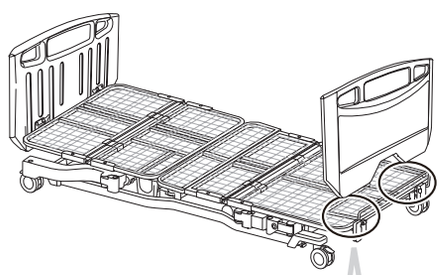
Ａ位置：適応身長目安 175 ㎝未満の方



Ｂ位置：適応身長目安 175 ㎝以上の方



※初期設定はＡ位置に合わせています。





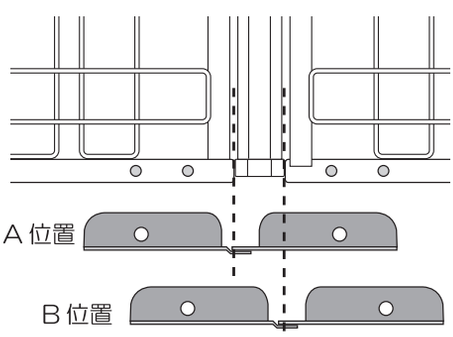
※フィッティングバーの切り替え後は、ローラーがパイプの上に確実に載っていることを確認してください。

ハイバックサポートのフィッティング

ポジショニングベッドは、ひざ位置同様にハイバックサポートの位置を２段階に調整することができます。
利用者の身長や症状に合わせて調整してください。

※初期設定はＢ位置（腰ボトム寄り）に合わせています。

※フィッティングバーの間接部を下図の位置に合わせてください。



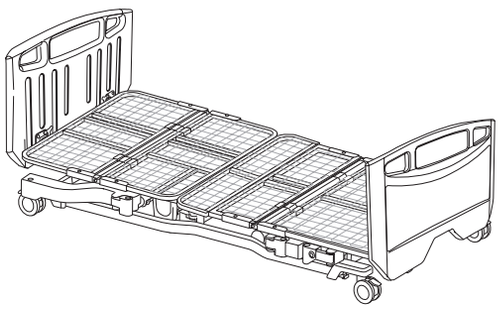
⚠ 確認

両側のピンが同じ位置に挿されているか確認してください。

ベッドの分解方法

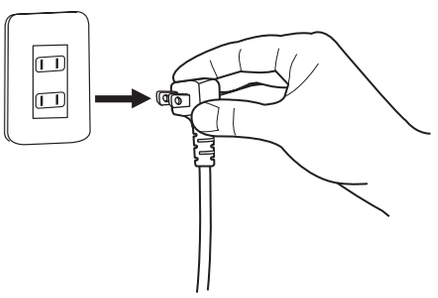
1

ボトムを水平に戻し、背・ひざ・昇降を一番下まで下げます。



2

電源プラグを抜きます。



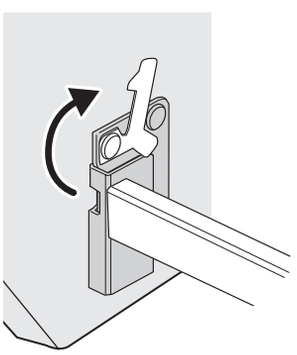
⚠ 注意

必ず電源プラグのプラグ部をお持ちになり、コンセントから抜いてください。コードを引っ張ると、断線の原因になります。

3

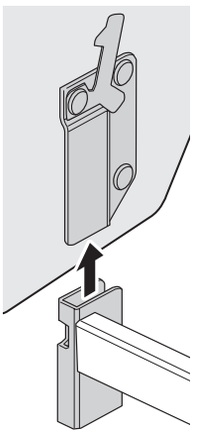
ヘッドボード、フットボードをセンターフレームから取り外します。

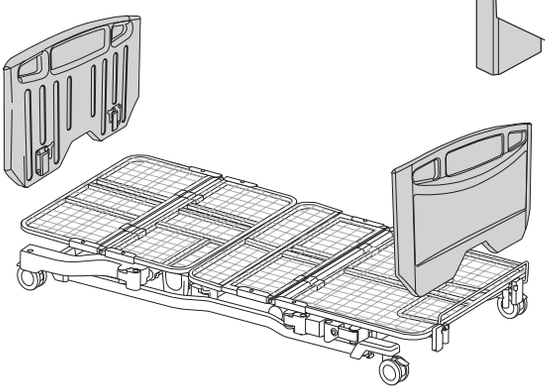
①ボード側の留め具を、センターフレームの取り付け金具から外します。



②センターフレームの取り付け金具から取り外します。

※移乗介助、頭部治療、上肢、下肢訓練などの際にもヘッドボード・フットボードを取り外していただくことが可能です。

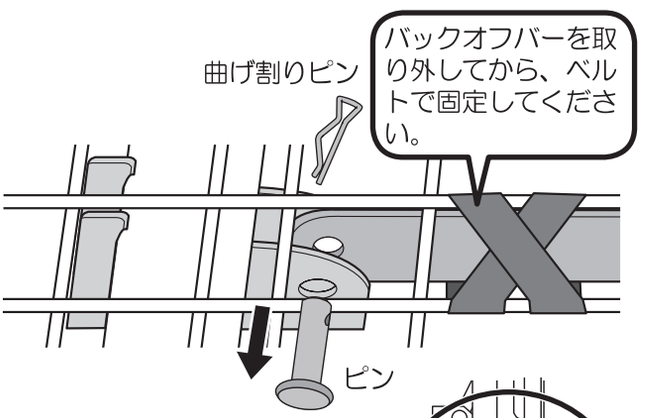




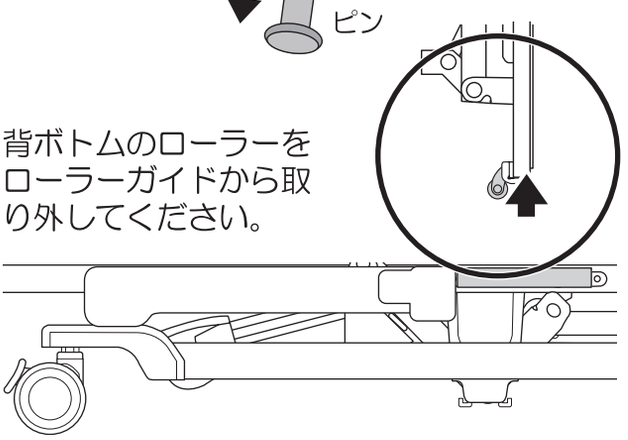
4

センターフレームから背ボトムを取り外します。

①バックオフバーから曲げ割りピンとピンを外し、バックオフバーを取り外してください。
②バックオフバーをベルトで固定します。

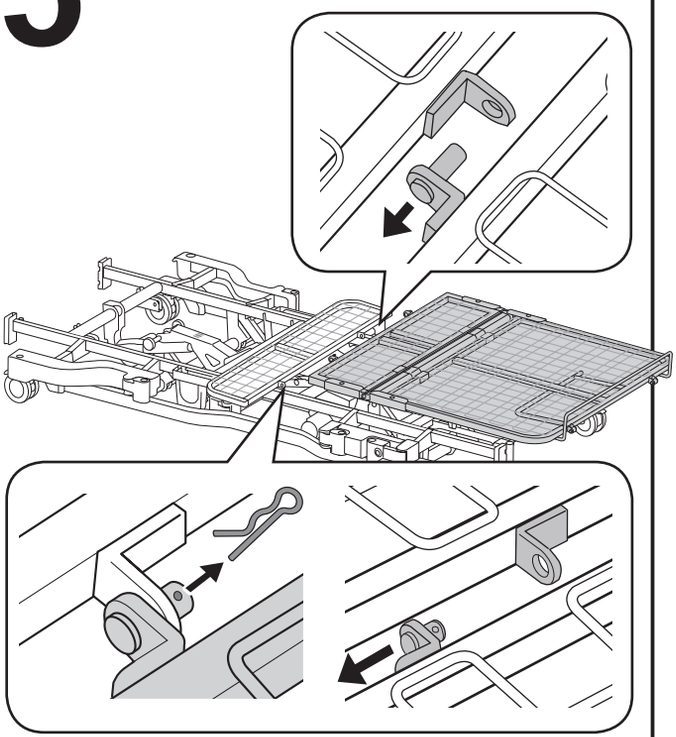


背ボトムのローラーをローラーガイドから取り外してください。



5

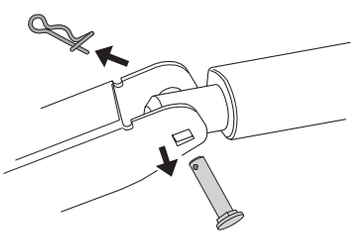
センターフレームからひざ脚ボトムを取り外します。

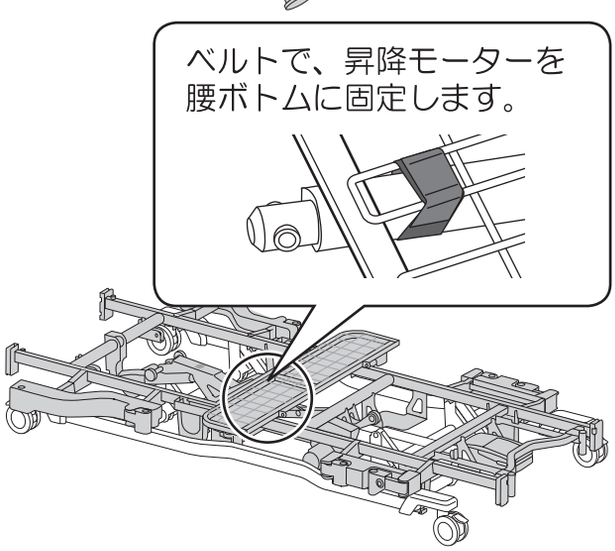


6

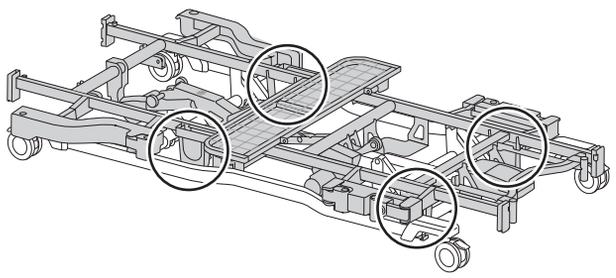
ベースフレームからセンターフレームを取り外します。

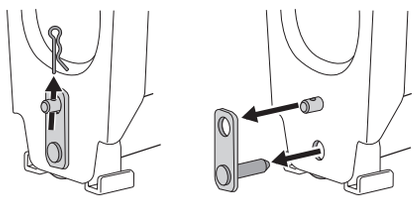
①昇降モーターから抜け止めピンを外し、昇降用ピン（銀色）を抜きます。

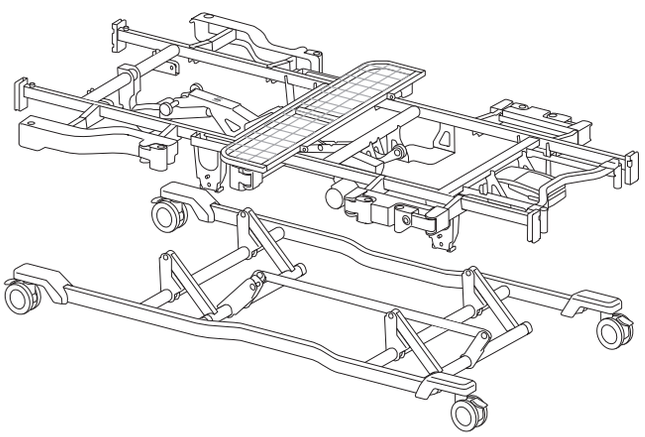




②下図４箇所のロックプレートと割りピンを外し、センターフレームを取り外してください。







故障かな？と思ったら

商品が動かないときは、下記項目を確認してください

症状	確認していただきたいこと	処　置
商品が動かない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセント（AC100-240V）に挿し込んでください
	延長コードのプラグが抜けていませんか？	延長コードのプラグが抜けていないか、延長コードに故障がないかを必ず確認してください
	電源プラグが破損していませんか？	販売店または弊社にご相談ください
	手元スイッチ、またはモーターのコードが抜けていませんか？	手元スイッチ、およびモーターのコネクタの挿込口に挿し込んでください
	ご家庭のブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを確認してください

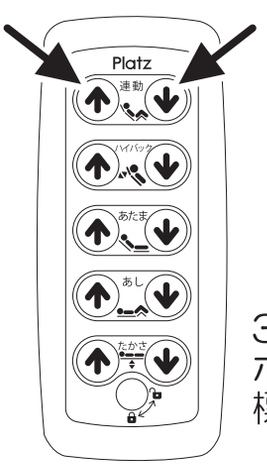
標準手元スイッチのリセット（３モーターポジショニングベッドのみ）

症　状

ベッドが動かない。

方　法

標準手元スイッチの下記ボタン２個を同時に長押ししてください。
ブザーが５秒間鳴ります。
次に、すべてのモーターを縮めた後、ベッドが正しく動くことを確認してください。



３モーター
ポジショニングベッド
標準手元スイッチ

適合周辺機器

サイドレール	PA505-96/PA505-75/PA505-44/PA505-119/ PS05-112/PS05-151/PS05-90/PS05-114
ベッド用グリップ	PG02-116AT/PG03-116M
ハンドグリップ	PG04-75
マットレス	PKM-E80BR/PKM-9080/PD503-A9008/ PM09-A9008/PM11-9009/PM12-9009/ PM06-9003/PM14-A9008/PM15-A9008/ PM18-A9012/PM19-A9012/PM21-A9010/ PM22-A9010/PM23-A9008/PM26-A9008/ PM27-A9008/PM28-A9008/PM29-A9008 もしくは下記サイズ、質量を満たす物 サイズ：幅 88 ～ 91 ㎝×長さ 190 ～ 192 ㎝ 厚　さ：最大 18 ㎝以下　　最小 7 ㎝以上 質　量：34 ㎏以下
オーバーテーブル	PGT-400LM/PT01-A1
サイドテーブル	PZT-840/PT03 シリーズ
延長脚	PDP-70G/PDP-140G ※センターロックへの取り付けはできません。 ※安全のため、取り付けできる延長脚は 1 本までです。
離床センサー	PW02 シリーズ /PW03 シリーズ
フットライト	PL01-5V　※変換アダプター付電源コードは、「PL01-L」または「PL02-L」を使用してください。
バッテリー	PE06-BA19

保管について

長期保管する場合

長期間ベッドをご使用にならない場合は下記にご注意ください。
○高温、多湿、低温、乾燥、ホコリの多い場所を避けて保管してください。
○取扱説明書は大切に保管してください。

組み立てた状態でベッドを保管する場合

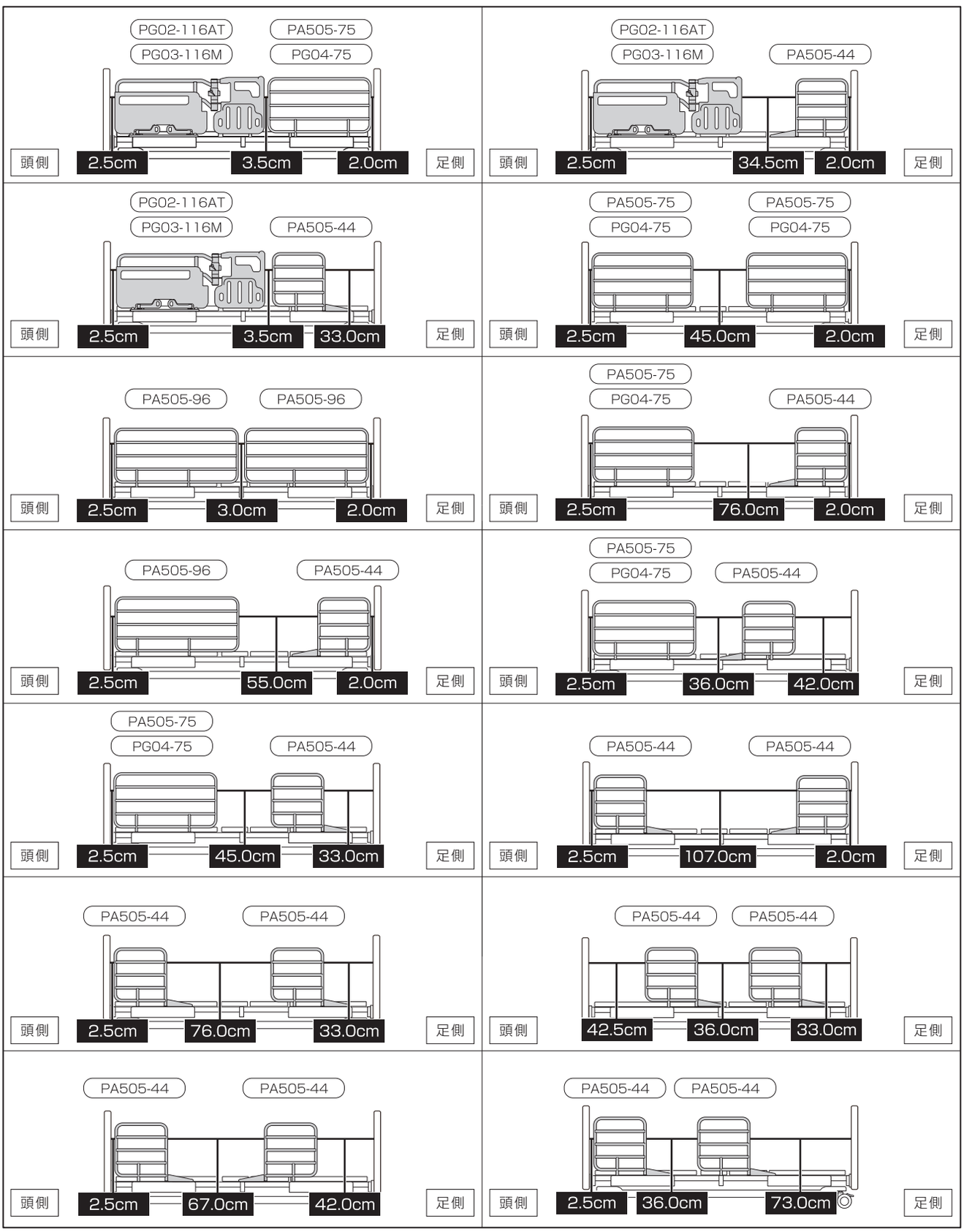
○背ボトム、ひざボトムを水平にしてください。
○ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
○ベッドを壁に立て掛けたり横倒しにせず、床に水平に置いて保管してください。
○電源プラグをコンセントから抜いてください。
　電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に保管してください。

分解してベッドを保管する場合

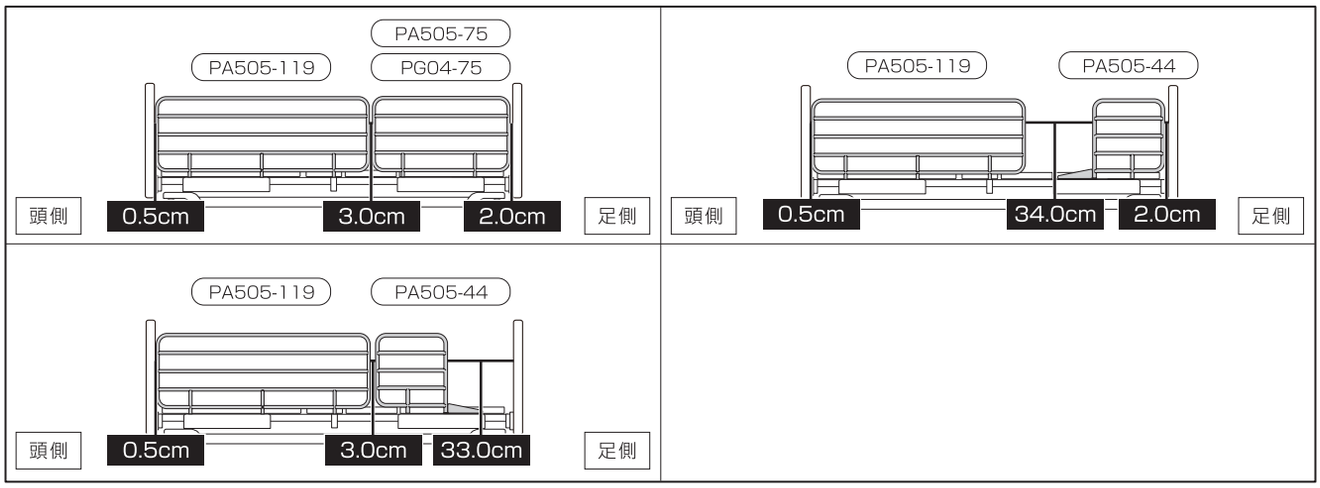
○ベッドの分解は取扱説明書に従って分解してください。
○使用を再開する場合は、取扱説明書に従って正しく組み立ててください。

レールの組み合わせ

※レールをベッドで使用される際は、下図の正しい組み合わせ、正しい方向でご使用ください。
　下図以外の組み合わせは、誤った組み合わせとなります。誤った組み合わせの状態でご使用になると、意図せぬ隙間の発生により怪我をする恐れがあります。
※レールの組み合わせは、頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

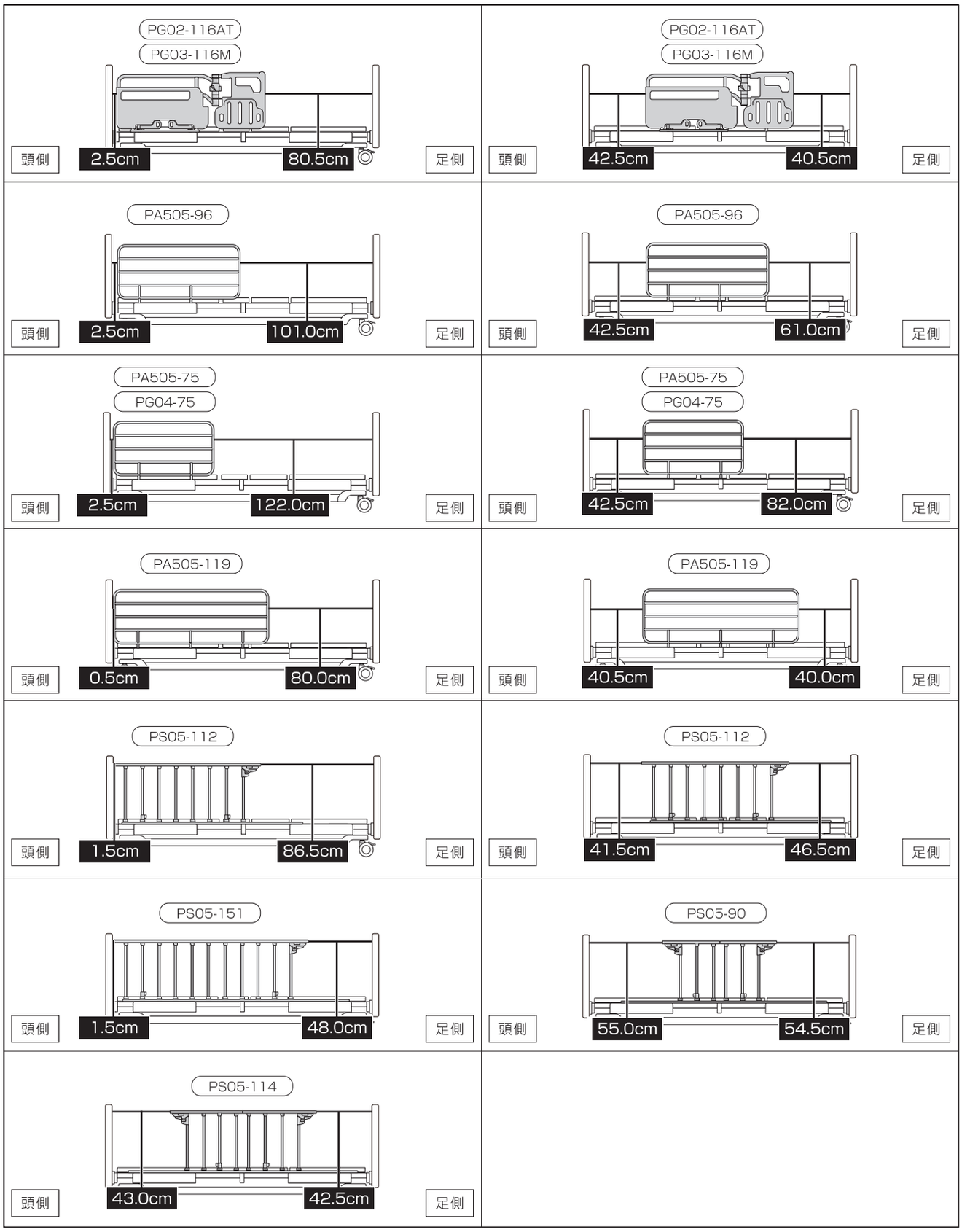


レールの組み合わせ


PA505-75
PA505-119
PG04-75
頭側
0.5cm
3.0cm
2.0cm
足側
PA505-119
PA505-44
頭側
0.5cm
34.0cm
2.0cm
足側
PA505-119
PA505-44
頭側
0.5cm
3.0cm
33.0cm
足側

レールの組み合わせ

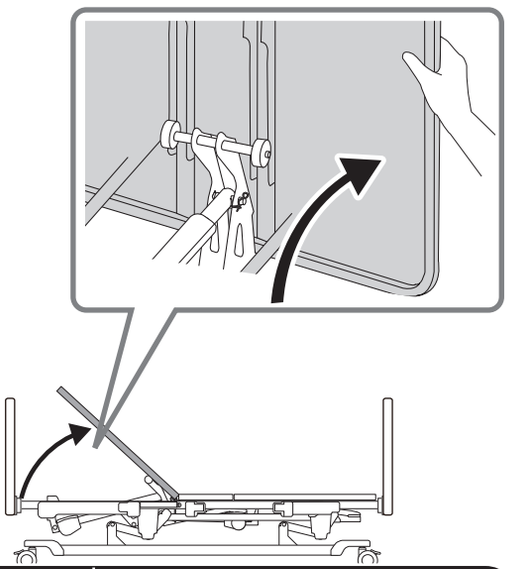
● サイドレール単体で使用される隙間



停電時の背下げ方法

※作業時は、必ず利用者はベッドから降りていただき作業をおこなってください。
※電源プラグはコンセントから抜いてください。※危険防止のため、作業は２人以上でおこなってください。

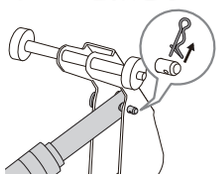
①利用者と寝具をベッドから降ろし、作業は
背ボトムを手で支えておこなってください。



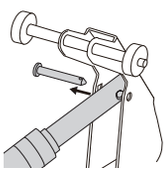
⚠警告 安全のため作業は２人以上でおこなってください。

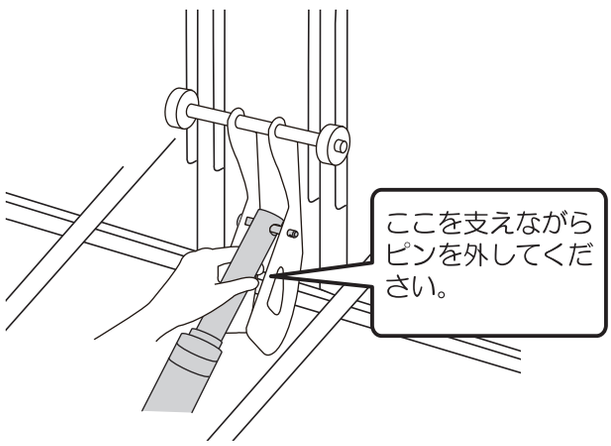
②背上げモーター先端のピンを外してください。

ピン先端の穴から抜け止めピンを抜きます。

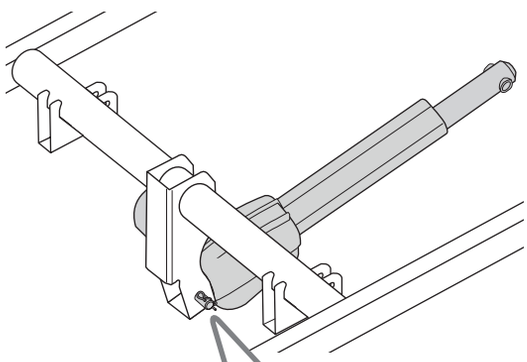


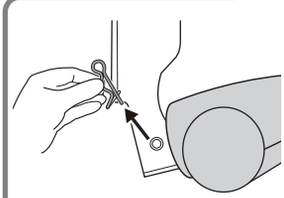
モーターからピンを抜きます。



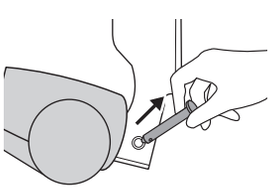


③背上げモーター根元側のピンと割りピンを
外してください。



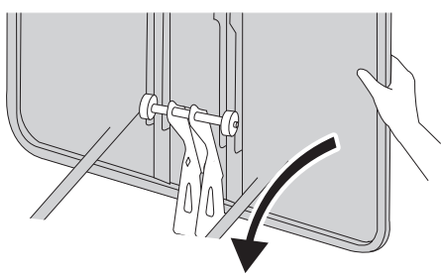


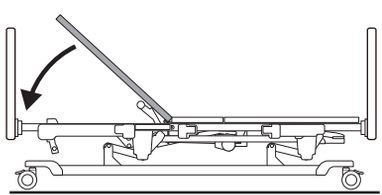
ピン先端の穴から抜け止めピンを抜きます。

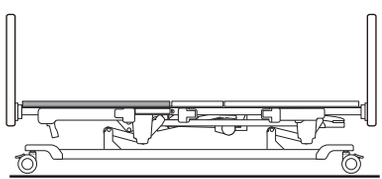


ピンを抜きます。

④背上げモーターをヘッドフレームから外します。
⑤背ボトムを降ろします。







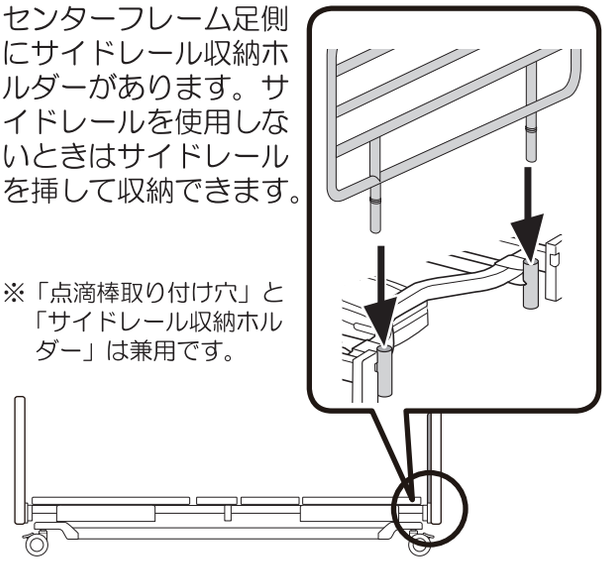
電力が回復しましたら、逆の手順で元に戻してご使用ください。
外したピンと抜け止めピンは背ボトムを元に戻す際に使用しますので、保管しておいてください。
※停電時はオプションのバッテリーを使用して、背下げをおこなうことができます。

便利な使いかた

サイドレール収納ホルダー / 点滴棒取り付け穴

センターフレーム足側にサイドレール収納ホルダーがあります。サイドレールを使用しないときはサイドレールを挿して収納できます。

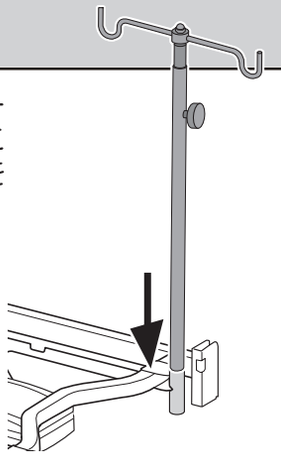
※「点滴棒取り付け穴」と「サイドレール収納ホルダー」は兼用です。



⚠ 注意

サイドレールホルダーに挿したサイドレールに手をつかないでください。
転倒や怪我をする恐れがあります。

サイドレール収納ホルダーに、点滴棒を取り付けることにより点滴バッグなどを掛けることができます。

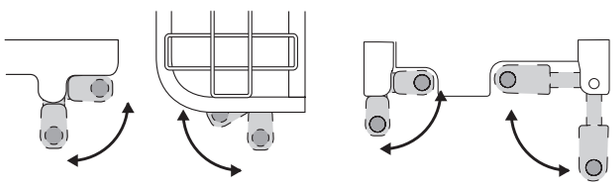


⚠ 注意

点滴用のチューブなどをベッドの隙間などにはさまないように注意してください。
チューブなどが破損・変形する恐れがあります。

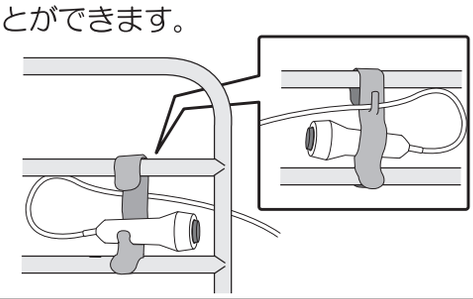
収納式ホルダー

片側４箇所のホルダーが回転式で収納ができ、車椅子への乗り降りなどを楽におこなうことができます。



ナースコールホルダー兼万能フック

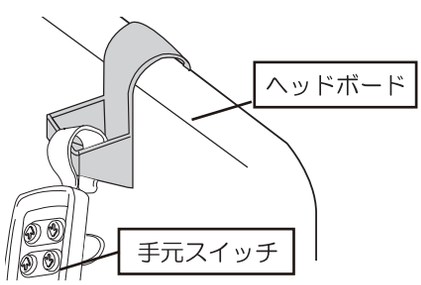
ナースコールホルダーは、サイドレールに取り付けることができます。



手元スイッチホルダー

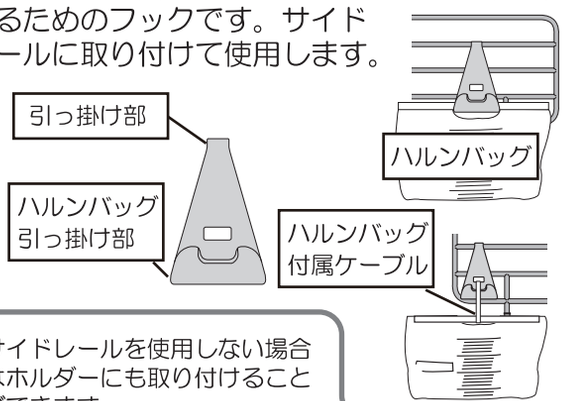
ヘッドボードやフットボードに取り付け、手元スイッチを引っ掛けることができます。

※手元スイッチホルダーは、ベッドの外側に手元スイッチを引っ掛けるように取り付けてください。

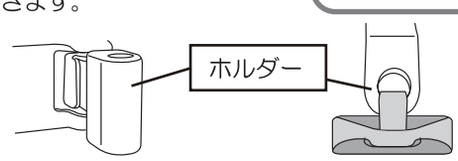


ハルンバッグ用フック

ハルンバッグ用フックはハルンバッグを取り付けるためのフックです。サイドレールに取り付けて使用します。



サイドレールを使用しない場合はホルダーにも取り付けることができます。

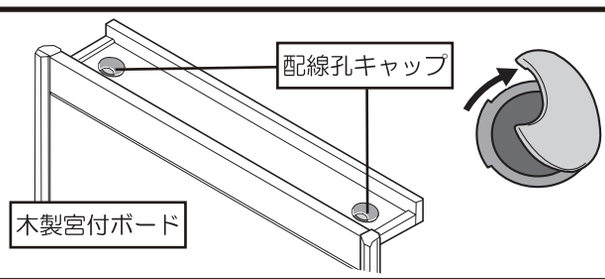


⚠ 注意

ハルンバッグを取り付けるため以外には使用しないでください。
ハルンバッグを使用しないときはフックを取り外してください。

木製宮付ボード 配線孔キャップ

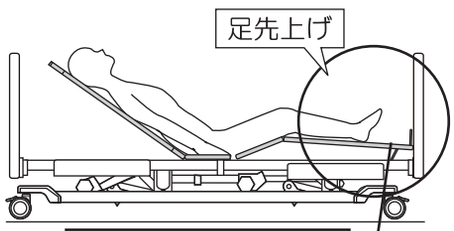
木製宮付ボードには２箇所の配線孔があります。必要に応じて、コードやケーブルを通してご使用ください。



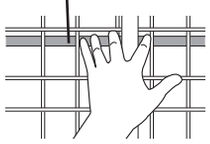
選べるつま先（ポジショニングベッドのみ）

足のむくみなどの軽減に、〝つま先サポートバー〟の位置で「足先上げ」「足先下げ」が選べます。

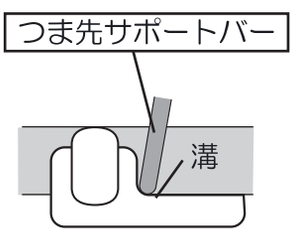
「足先上げ」設定のしかた



※脚ボトムを完全に降ろした状態にしてください。



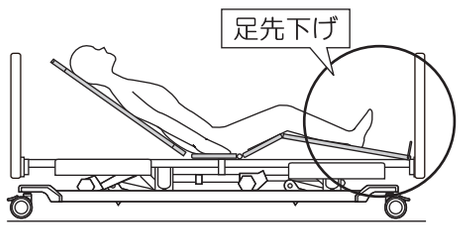
① “「足先下げ」設定のしかた”の①図の箇所の脚ボトムのネットの隙間から、つま先サポートバーをしっかり押さえて、脚ボトム裏から外します。



②つま先サポートバーがフットフレームの溝に入ったことを確認してください。

③このまま〝ひざ上げ〟をします。

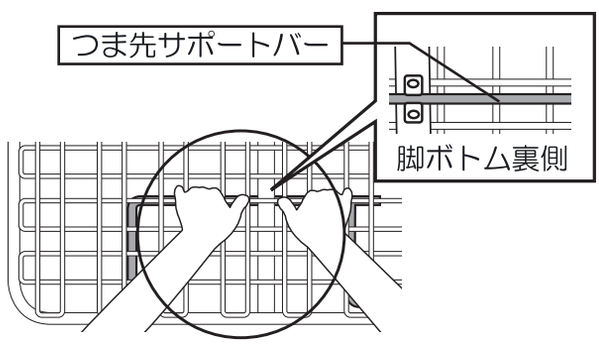
「足先下げ」設定のしかた



※脚ボトムを完全に降ろした状態にしてください。

※つま先サポートバーは脚ボトム裏にあります。

①脚ボトムのネット上から、つま先サポートバーを掴むようにして脚ボトム裏にしっかりはめ込みます。



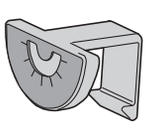
②このまま〝ひざ上げ〟をします。

角度計の取付位置「ベーシックベッド」には１個「ポジショニングベッド」には２個　角度計を付属しています。

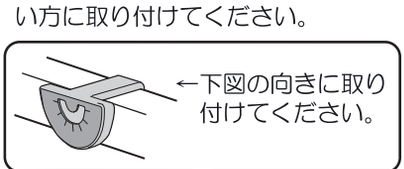
⚠確認　ベーシックベッドとポジショニングベッドで角度計の取り付け部のサイズが異なります。下記に記載されている正しい位置に取り付けてください。

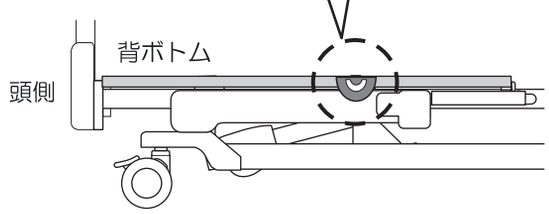
ベーシックベッドの場合

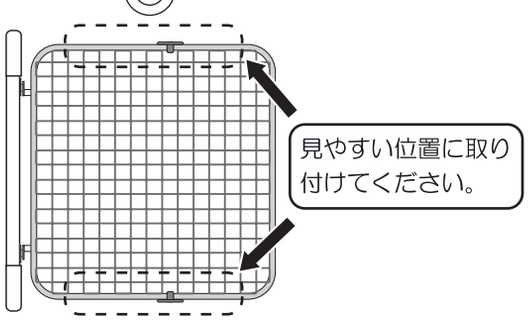
付属の角度計



ベッドの左右どちら側にも取り付けることができます。どちらか見やすい方に取り付けてください。

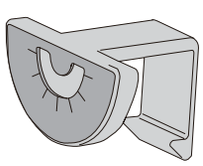




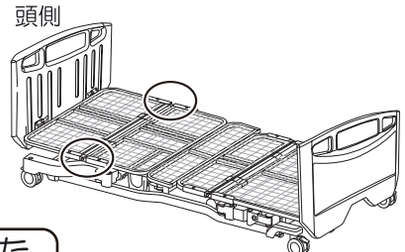


ポジショニングベッドの場合

付属の角度計



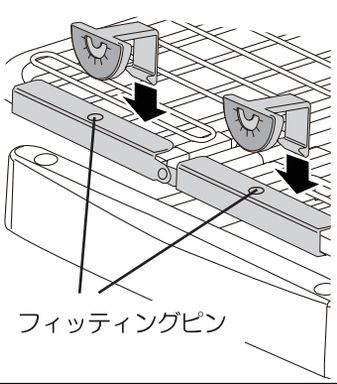
頭側



取り付けかた

①ポジショニングベッドの頭側フィッティングバー左右どちらかに、２個取り付けてください。

②フィッティングピンをよけてネットの間に取り付けてください。ハイバック部側に１個・背ボトム側に１個を取り付けてください。



⚠確認

しっかり取り付けられているか確認してください。

マットレスストッパーの取り付けかた

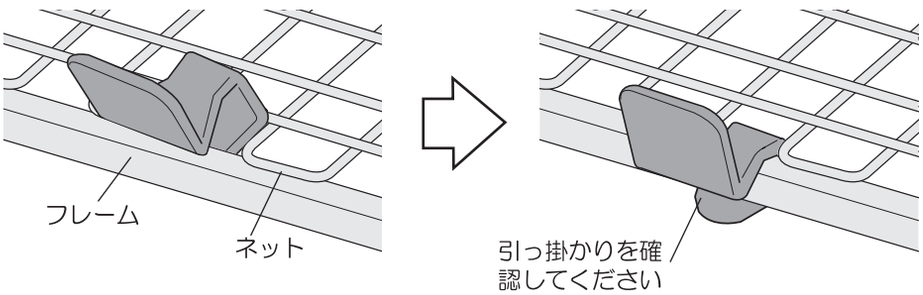
マットレスストッパーの目的

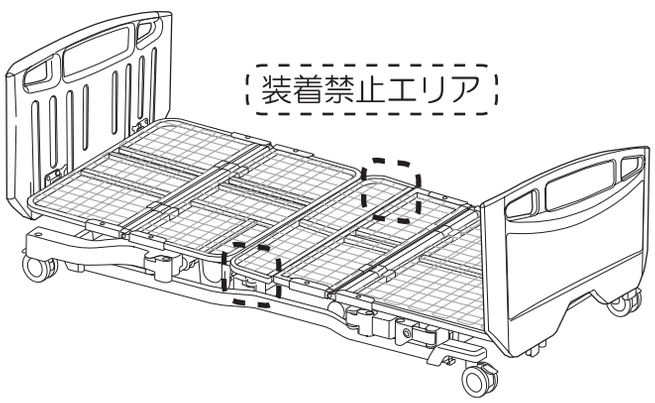
本商品はベッドに乗り降りする際のマットレスの横ずれを防止するものです。図のように、乗り降りする側の中央部以外の部分に装着してください。

取り付けかた

①ネットの間にマットレスストッパーを入れて、フレームに装着します。

②マットレスストッパーの奥まで、確実にフレームに取り付けてください。



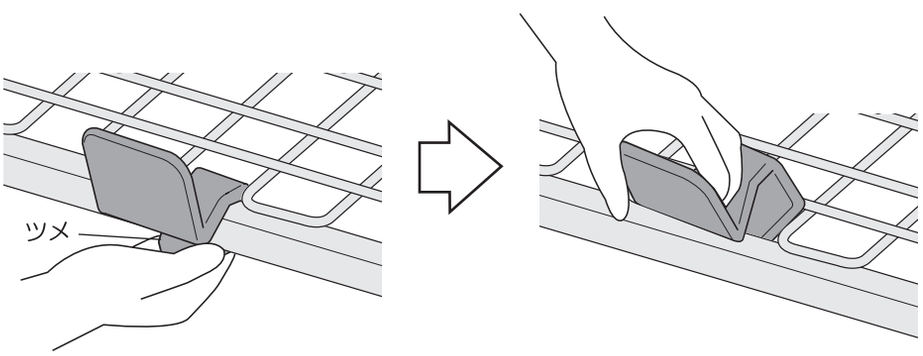


⚠ 確認

しっかり取り付けられているか確認してください。
※マットレスがずれないよう、ベッドの左右両側にマットレスストッパーを取り付けてください。

外しかた

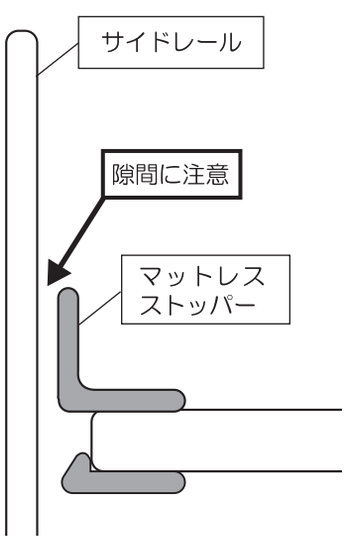
ツメを下に押しながら外します。

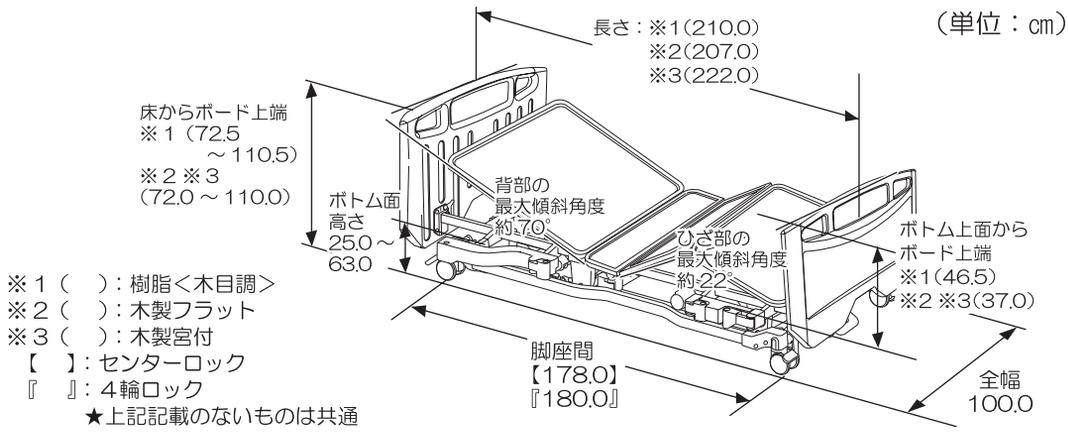


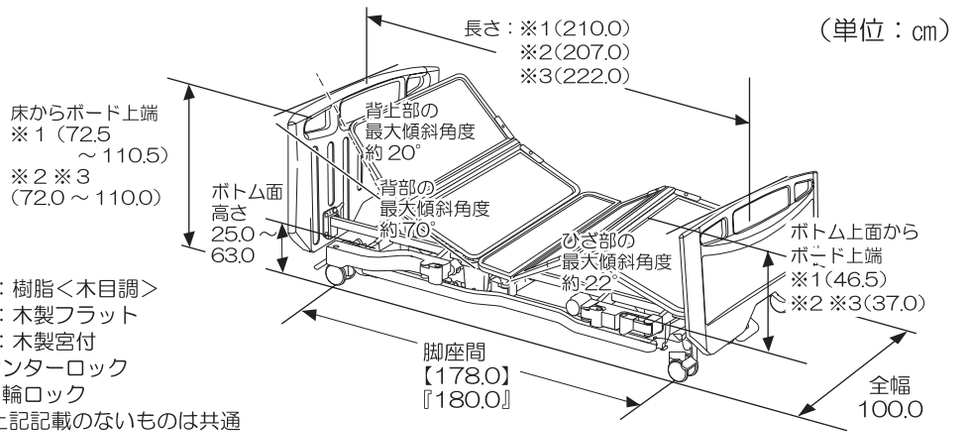
※ネットとの間に、指などをはさまないように注意してください。

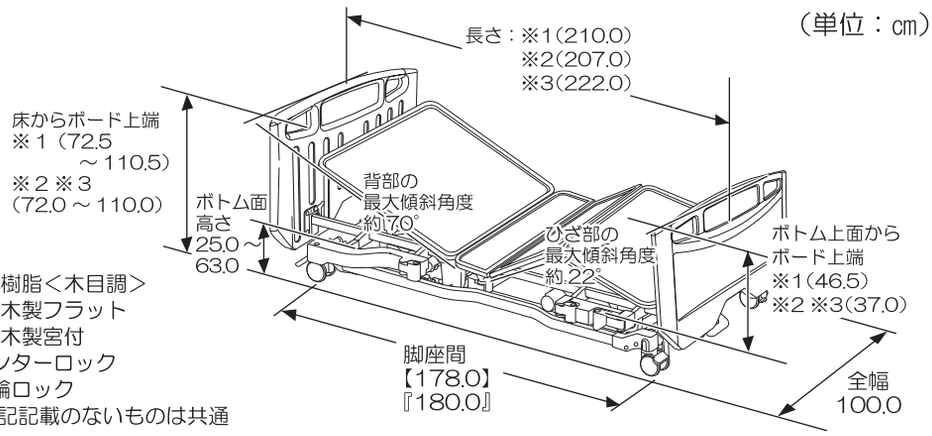
⚠ 警告

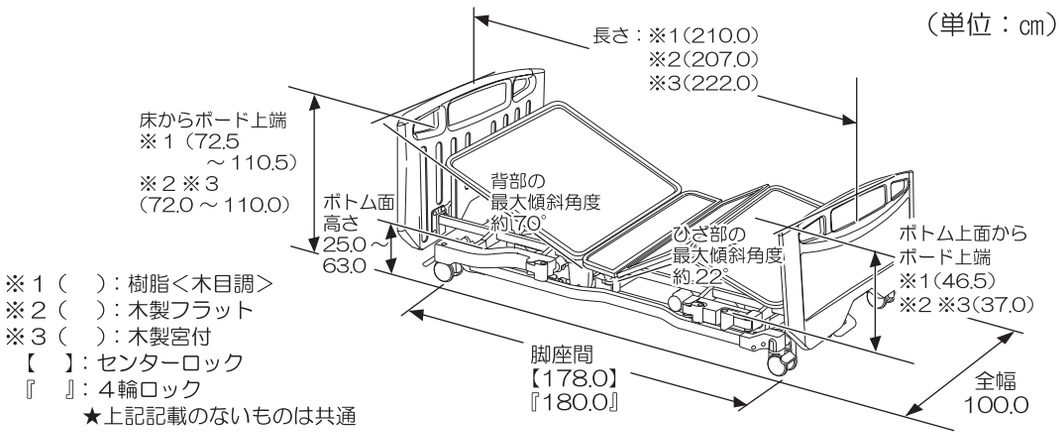
■上記装着禁止エリアには装着しないでください。
マットレスストッパーは、乗り降りする中央部（腰ボトム部）に装着すると、座った場合などお尻や大腿部を傷付けることがあります。
■サイドレールやベッド用グリップの装着位置への取り付けは、ベッド操作時に本品とサイドレールやベッド用グリップの間の隙間が狭くなり指はさみを起こす恐れがあるため、おすすめできません。

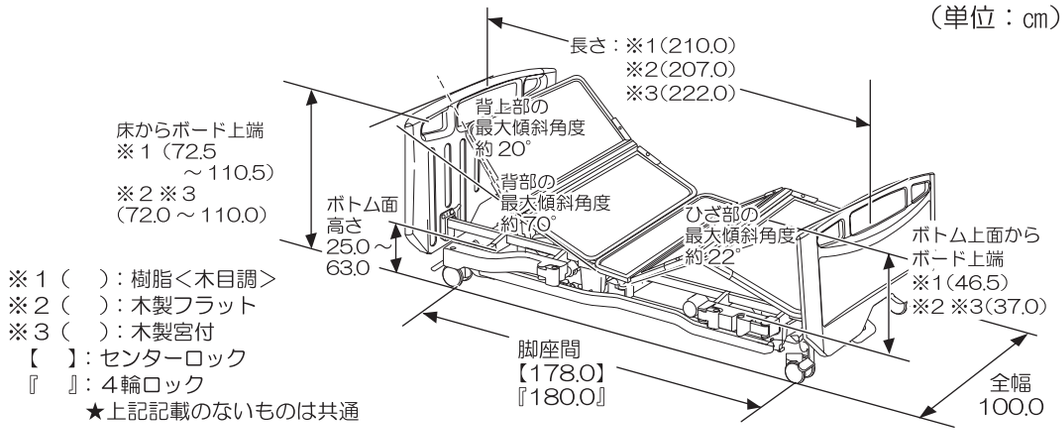


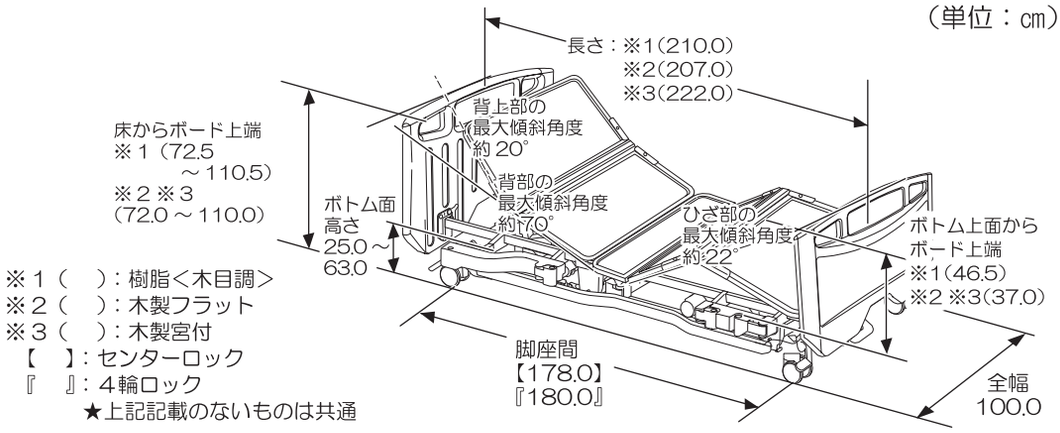
型　式	P400-21 シリーズ（固定脚）/ P400-22 シリーズ（4 輪ロック） P400-23 シリーズ（センターロック）
商品名	2 モーターベーシックベッド
ベッド寸法	（単位：㎝）  ※1（　）：樹脂＜木目調＞ ※2（　）：木製フラット ※3（　）：木製宮付 【　】：センターロック 『　』：4輪ロック ★上記記載のないものは共通
商品質量	（1/4）:ベースフレーム（固定脚）　22.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（4 輪ロック）　23.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（センターロック）　33.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（2 モーターベーシックベッド）　38.0 ㎏ （3/4）: ボトムセット（2・3 モーターベーシックベッド）　16.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉）　12.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　15.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　20.0 ㎏ 商品質量合計 P400-21AC ： 88.5 ㎏ P400-21BF ： 93.0 ㎏ P400-21CF ： 93.0 ㎏ P400-21BM ： 96.5 ㎏ P400-21CM ： 96.5 ㎏ P400-22AC ： 89.5 ㎏ P400-22BF ： 93.0 ㎏ P400-22CF ： 93.0 ㎏ P400-22DF ： 93.0 ㎏ P400-22BM ： 97.5 ㎏ P400-22CM ： 97.5 ㎏ P400-22DM ： 97.5 ㎏ P400-23AC ： 99.0 ㎏ P400-23BF ：102.5 ㎏ P400-23CF ：102.5 ㎏ P400-23DF ：102.5 ㎏ P400-23BM ：107.0 ㎏ P400-23CM ：107.0 ㎏ P400-23DM ：107.0 ㎏
梱包サイズ 梱包質量	（1/4）:ベースフレーム（固定脚）　108.0 ㎝× 196.0 ㎝× 27.5 ㎝　32.0 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（4 輪ロック）　22.0 ㎝× 22.0 ㎝× 7.5 ㎝　2.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（センターロック）　109.0 ㎝× 203.0 ㎝× 26.0 ㎝　43.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（2 モーターベーシックベッド）　111.0 ㎝× 203.5 ㎝× 27.5 ㎝　46.5 ㎏ （3/4）: ボトムセット（2・3 モーターベーシックベッド）　96.0 ㎝× 93.5 ㎝× 21.5 ㎝　21.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉）　98.0 ㎝× 64.5 ㎝× 14.5 ㎝　14.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 13.0 ㎝　18.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付くダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 28.0 ㎝　25.0 ㎏
材　質	• 本体ユニット：スチール、ABS • 樹脂製ボード：PE　　• 木製ボード：プリント紙化粧繊維版、天然木 PU 塗装
電動機能	無段階自在式 背上げ（背ひざ連動 / 背単独）、昇降
その他の特長	ボトムは通気性に優れたスチールメッシュ方式 片側 4 箇所のホルダーが収納式 足側にサイドレール収納ホルダー
騒音試験結果	50dB（A）
定格電圧	100V-240V（50/60Hz）
定格消費電力	150W
最大利用者体重	ボードの記載をご確認ください
原産国	ベッド本体：ベトナム / 木製ボード：ベトナム・中国

型　式	P400-61 シリーズ（固定脚）/ P400-62 シリーズ（4 輪ロック） P400-63 シリーズ（センターロック）
商品名	2 モーターポジショニングベッド
ベッド寸法	（単位：㎝）  ※1（　）：樹脂＜木目調＞ ※2（　）：木製フラット ※3（　）：木製宮付 【　】：センターロック 『　』：4輪ロック ★上記記載のないものは共通
商品質量	（1/4）:ベースフレーム（固定脚）　22.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（4 輪ロック）　23.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（センターロック）　33.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（2 モーターポジショニングベッド）　38.0 ㎏ （3/4）: ボトムセット（2 モーターポジショニングベッド）　22.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉）　12.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　15.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　20.0 ㎏ 商品質量合計 P400-61AC：94.5 ㎏ P400-61BF：99.0 ㎏ P400-61CF：99.0 ㎏ P400-61BM：102.5 ㎏ P400-61CM：102.5 ㎏ P400-62AC：95.5 ㎏ P400-62BF：99.0 ㎏ P400-62CF：99.0 ㎏ P400-62DF：99.0 ㎏ P400-62BM：103.5 ㎏ P400-62CM：103.5 ㎏ P400-62DM：103.5 ㎏ P400-63AC：105.0 ㎏ P400-63BF：108.5 ㎏ P400-63CF：108.5 ㎏ P400-63DF：108.5 ㎏ P400-63BM：113.0 ㎏ P400-63CM：113.0 ㎏ P400-63DM：113.0 ㎏
梱包サイズ 梱包質量	（1/4）:ベースフレーム（固定脚）　108.0 ㎝× 196.0 ㎝× 27.5 ㎝　32.0 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（4 輪ロック）　22.0 ㎝× 22.0 ㎝× 7.5 ㎝　2.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（センターロック）　109.0 ㎝× 203.0 ㎝× 26.0 ㎝　43.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（2 モーターポジショニングベッド）　111.0 ㎝× 203.5 ㎝× 27.5 ㎝　46.5 ㎏ （3/4）: ボトムセット（2 モーターポジショニングベッド）　96.0 ㎝× 93.5 ㎝× 21.5 ㎝　27.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉）　98.0 ㎝× 64.5 ㎝× 14.5 ㎝　14.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 13.0 ㎝　18.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付くダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 28.0 ㎝　25.0 ㎏
材　質	• 本体ユニット：スチール、ABS • 樹脂製ボード：PE　• 木製ボード：プリント紙化粧繊維版、天然木 PU 塗装
電動機能	無段階自在式 背上げ（背ひざ連動 / 背単独）、昇降、ハイバックサポート
その他の特長	ボトムは通気性に優れたスチールメッシュ方式 片側 4 箇所のホルダーが収納式 足側にサイドレール収納ホルダー　手元スイッチにロック機能付
騒音試験結果	50dB（A）
定格電圧	100V-240V（50/60Hz）
定格消費電力	150W
最大利用者体重	ボードの記載をご確認ください
原産国	ベッド本体：ベトナム / 木製ボード：ベトナム • 中国

型　式	P400-31 シリーズ（固定脚）/ P400-32 シリーズ（4 輪ロック） P400-33 シリーズ（センターロック）
商品名	標準手元スイッチ対応 3モーターベーシックベッド
ベッド寸法	（単位：㎝）  ※１（　）：樹脂＜木目調＞ ※２（　）：木製フラット ※３（　）：木製宮付 【　】：センターロック 『　』：４輪ロック ★上記記載のないものは共通
商品質量	（1/4）:ベースフレーム （固定脚） 22.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム （4 輪ロック） 23.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム （センターロック） 33.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（3 モーターベーシックベッド） 40.0 ㎏ （3/4）: ボトムセット（2・3 モーターベーシックベッド） 16.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉） 12.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉） 15.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉） 20.0 ㎏ 商品質量合計 P400-31AC ： 90.5 ㎏ P400-31BF ： 95.0 ㎏ P400-31CF ： 95.0 ㎏ P400-31BM ： 98.5 ㎏ P400-31CM ： 98.5 ㎏ P400-32AC ： 91.5 ㎏ P400-32BF ： 95.0 ㎏ P400-32CF ： 95.0 ㎏ P400-32DF ： 95.0 ㎏ P400-32BM ： 99.5 ㎏ P400-32CM ： 99.5 ㎏ P400-32DM ： 99.5 ㎏ P400-33AC ：101.0 ㎏ P400-33BF ：104.5 ㎏ P400-33CF ：104.5 ㎏ P400-33DF ：104.5 ㎏ P400-33BM ：109.0 ㎏ P400-33CM ：109.0 ㎏ P400-33DM ：109.0 ㎏
梱包サイズ 梱包質量	（1/4）:ベースフレーム （固定脚） 108.0 ㎝× 196.0 ㎝× 27.5 ㎝ 32.0 ㎏ （1/4）:ベースフレーム （4 輪ロック） 22.0 ㎝× 22.0 ㎝× 7.5 ㎝ 2.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム （センターロック） 109.0 ㎝× 203.0 ㎝× 26.0 ㎝ 43.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（3 モーターベーシックベッド） 111.0 ㎝× 203.5 ㎝× 27.5 ㎝ 47.5 ㎏ （3/4）: ボトムセット（2・3 モーターベーシックベッド） 96.0 ㎝× 93.5 ㎝× 21.5 ㎝ 21.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂＜木目調＞） 98.0 ㎝× 64.5 ㎝× 14.5 ㎝ 14.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉） 106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 13.0 ㎝ 18.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉） 106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 28.0 ㎝ 25.0 ㎏
材　質	• 本体ユニット：スチール、ABS • 樹脂製ボード：PE　　• 木製ボード：プリント紙化粧繊維版、天然木 PU 塗装
電動機能	無段階自在式 背上げ、ひざ上げ、昇降
その他の特長	ボトムは通気性に優れたスチールメッシュ方式 片側 4 箇所のホルダーが収納式 足側にサイドレール収納ホルダー
騒音試験結果	50dB（A）
定格電圧	100V-240V（50/60Hz）
定格消費電力	150W
最大利用者体重	ボードの記載をご確認ください
原産国	ベッド本体：ベトナム / 木製ボード：ベトナム・中国

型　式	P400-31 シリーズ（固定脚）/ P400-32 シリーズ（4 輪ロック） P400-33 シリーズ（センターロック）
商品名	液晶手元スイッチ対応 3モーターベーシックベッド
ベッド寸法	（単位：㎝）  ※1（　）：樹脂＜木目調＞ ※2（　）：木製フラット ※3（　）：木製宮付 【　】：センターロック 『　』：4輪ロック ★上記記載のないものは共通
商品質量	（1/4）:ベースフレーム （固定脚） 22.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム （4 輪ロック） 23.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム （センターロック） 33.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（3 モーターベーシックベッド） 39.5 ㎏ （3/4）: ボトムセット（2・3 モーターベーシックベッド） 16.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉） 12.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉） 15.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉） 20.0 ㎏ 液晶手元スイッチ 0.5 ㎏ 商品質量合計 P400-31AC1 ： 90.5 ㎏ P400-31BF1 ： 95.0 ㎏ P400-31CF1 ： 95.0 ㎏ P400-31BM1 ： 98.5 ㎏ P400-31CM1 ： 98.5 ㎏ P400-32AC1 ： 91.5 ㎏ P400-32BF1 ： 95.0 ㎏ P400-32CF1 ： 95.0 ㎏ P400-32DF1 ： 95.0 ㎏ P400-32BM1 ： 99.5 ㎏ P400-32CM1 ： 99.5 ㎏ P400-32DM1 ： 99.5 ㎏ P400-33AC1 ：101.0 ㎏ P400-33BF1 ：104.5 ㎏ P400-33CF1 ：104.5 ㎏ P400-33DF1 ：104.5 ㎏ P400-33BM1 ：109.0 ㎏ P400-33CM1 ：109.0 ㎏ P400-33DM1 ：109.0 ㎏
梱包サイズ 梱包質量	（1/4）:ベースフレーム （固定脚） 108.0 ㎝× 196.0 ㎝× 27.5 ㎝ 32.0 ㎏ （1/4）:ベースフレーム （4 輪ロック） 22.0 ㎝× 22.0 ㎝× 7.5 ㎝ 2.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム （センターロック） 109.0 ㎝× 203.0 ㎝× 26.0 ㎝ 43.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（3 モーターベーシックベッド） 111.0 ㎝× 203.5 ㎝× 27.5 ㎝ 47.5 ㎏ （3/4）: ボトムセット（2・3 モーターベーシックベッド） 96.0 ㎝× 93.5 ㎝× 21.5 ㎝ 21.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉） 98.0 ㎝× 64.5 ㎝× 14.5 ㎝ 14.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉） 106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 13.0 ㎝ 18.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉） 106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 28.0 ㎝ 25.0 ㎏ 液晶手元スイッチ 33.0 ㎝× 13.0 ㎝× 9.0 ㎝ 0.5 ㎏
材　質	• 本体ユニット：スチール、ABS • 樹脂製ボード：PE　　• 木製ボード：プリント紙化粧繊維版、天然木 PU 塗装
電動機能	無段階自在式 背上げ、ひざ上げ、昇降
その他の特長	ボトムは通気性に優れたスチールメッシュ方式 片側 4 箇所のホルダーが収納式 足側にサイドレール収納ホルダー　　手元スイッチにロック機能付
騒音試験結果	50dB（A）
定格電圧	100V-240V（50/60Hz）
定格消費電力	150W
最大利用者体重	ボードの記載をご確認ください
原産国	ベッド本体：ベトナム / 木製ボード：ベトナム・中国

型　式	P400-71 シリーズ（固定脚）/ P400-72 シリーズ（4 輪ロック） P400-73 シリーズ（センターロック）
商品名	標準手元スイッチ対応 3モーターポジショニングベッド
ベッド寸法	（単位：cm）  ※1（　）：樹脂＜木目調＞ ※2（　）：木製フラット ※3（　）：木製宮付 【　】：センターロック 『　』：4輪ロック ★上記記載のないものは共通
商品質量	（1/4）:ベースフレーム（固定脚）　22.5 kg （1/4）:ベースフレーム（4 輪ロック）　23.5 kg （1/4）:ベースフレーム（センターロック）　33.0 kg （2/4）:センターフレーム（3 モーターポジショニングベッド）　40.0 kg （3/4）: ボトムセット（3 モーターポジショニングベッド）　22.5 kg （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉）　12.0 kg （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　15.5 kg （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　20.0 kg 商品質量合計 P400-71AC：　97.0 kg P400-71BF：101.5 kg P400-71CF：101.5 kg P400-71BM：105.0 kg P400-71CM：105.0 kg P400-72AC：　98.0 kg P400-72BF：101.5 kg P400-72CF：101.5 kg P400-72DF：101.5 kg P400-72BM：106.0 kg P400-72CM：106.0 kg P400-72DM：106.0 kg P400-73AC：107.5 kg P400-73BF：111.0 kg P400-73CF：111.0 kg P400-73DF：111.0 kg P400-73BM：115.5 kg P400-73CM：115.5 kg P400-73DM：115.5 kg
梱包サイズ 梱包質量	（1/4）:ベースフレーム（固定脚）　108.0 cm× 196.0 cm× 27.8 cm　32.0 kg （1/4）:ベースフレーム（4 輪ロック）　22.0 cm×　22.0 cm×　7.5 cm　2.5 kg （1/4）:ベースフレーム（センターロック）　109.0 cm× 203.0 cm× 26.0 cm　43.0 kg （2/4）:センターフレーム（3 モーターポジショニングベッド）　111.0 cm× 203.5 cm× 27.5 cm　47.5 kg （3/4）: ボトムセット（3 モーターポジショニングベッド）　96.0 cm×　93.5 cm× 21.5 cm　28.0 kg （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉）　98.0 cm×　64.5 cm× 14.5 cm　14.5 kg （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　106.0 cm×　67.0 cm× 13.0 cm　18.5 kg （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　106.0 cm×　67.0 cm× 28.0 cm　25.0 kg
材　質	• 本体ユニット：スチール、ABS • 樹脂製ボード：PE　　• 木製ボード：プリント紙化粧繊維版、天然木 PU 塗装
電動機能	無段階自在式 背上げ、ひざ上げ、昇降、ハイバックサポート
その他の特長	ボトムは通気性に優れたスチールメッシュ方式 片側 4 箇所のホルダーが収納式 足側にサイドレール収納ホルダー　　手元スイッチにロック機能付
騒音試験結果	50dB（A）
定格電圧	100V-240V（50/60Hz）
定格消費電力	150W
最大利用者体重	ボードの記載をご確認ください
原産国	ベッド本体：ベトナム / 木製ボード：ベトナム・中国

型　式	P400-71 シリーズ（固定脚）/ P400-72 シリーズ（4 輪ロック） P400-73 シリーズ（センターロック）
商品名	液晶手元スイッチ対応 3モーターポジショニングベッド
ベッド寸法	（単位：㎝）  ※1（　）：樹脂＜木目調＞ ※2（　）：木製フラット ※3（　）：木製宮付 【　】：センターロック 『　』：4輪ロック ★上記記載のないものは共通
商品質量	（1/4）:ベースフレーム（固定脚）　22.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（4 輪ロック）　23.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（センターロック）　33.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（3 モーターポジショニングベッド）　39.5 ㎏ （3/4）: ボトムセット（3 モーターポジショニングベッド）　22.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉）　12.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　15.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　20.0 ㎏ 液晶手元スイッチ　0.5 ㎏ 商品質量合計 P400-71AC1 ： 97.0 ㎏ P400-71BF1 ： 101.5 ㎏ P400-71CF1 ： 101.5 ㎏ P400-71BM1 ： 105.0 ㎏ P400-71CM1 ： 105.0 ㎏ P400-72AC1 ： 98.0 ㎏ P400-72BF1 ： 101.5 ㎏ P400-72CF1 ： 101.5 ㎏ P400-72DF1 ： 101.5 ㎏ P400-72BM1 ： 106.0 ㎏ P400-72CM1 ： 106.0 ㎏ P400-72DM1 ： 106.0 ㎏ P400-73AC1 ： 107.5 ㎏ P400-73BF1 ： 111.0 ㎏ P400-73CF1 ： 111.0 ㎏ P400-73DF1 ： 111.0 ㎏ P400-73BM1 ： 115.5 ㎏ P400-73CM1 ： 115.5 ㎏ P400-73DM1 ： 115.5 ㎏
梱包サイズ 梱包質量	（1/4）:ベースフレーム（固定脚）　108.0 ㎝× 196.0 ㎝× 27.8 ㎝　32.0 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（4 輪ロック）　22.0 ㎝× 22.0 ㎝× 7.5 ㎝　2.5 ㎏ （1/4）:ベースフレーム（センターロック）　109.0 ㎝× 203.0 ㎝× 26.0 ㎝　43.0 ㎏ （2/4）:センターフレーム（3 モーターポジショニングベッド）　111.0 ㎝× 203.5 ㎝× 27.5 ㎝　47.5 ㎏ （3/4）: ボトムセット（3 モーターポジショニングベッド）　96.0 ㎝× 93.5 ㎝× 21.5 ㎝　28.0 ㎏ （4/4）:ボードセット（樹脂〈木目調〉）　98.0 ㎝× 64.5 ㎝× 14.5 ㎝　14.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製フラット〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 13.0 ㎝　18.5 ㎏ （4/4）:ボードセット（木製宮付〈ダークブラウン / ライトブラウン / ミディアムブラウン〉）　106.0 ㎝× 67.0 ㎝× 28.0 ㎝　25.0 ㎏ 液晶手元スイッチ　33.0 ㎝× 13.0 ㎝× 9.0 ㎝　0.5 ㎏
材　質	• 本体ユニット：スチール、ABS • 樹脂製ボード：PE　• 木製ボード：プリント紙化粧繊維版、天然木 PU 塗装
電動機能	無段階自在式 背上げ、ひざ上げ、昇降、ハイバックサポート
その他の特長	ボトムは通気性に優れたスチールメッシュ方式 片側 4 箇所のホルダーが収納式 足側にサイドレール収納ホルダー　手元スイッチにロック機能付
騒音試験結果	50dB（A）
定格電圧	100V-240V（50/60Hz）
定格消費電力	150W
最大利用者体重	ボードの記載をご確認ください
原産国	ベッド本体：ベトナム / 木製ボード：ベトナム・中国

保証とアフターサービス ※よくお読みください。

保証書について

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、型式・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、お買い上げ時の送り状などを保管してください。

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に、取扱説明書の P40「故障かな?と思ったら」の項目にしたがって確認してください。
それでも直らない場合は、お買い上げの販売店、またはフリーアクセスまでご連絡ください。

※修理・お取り扱い、お手入れのご相談は、お買い上げの販売店（「取扱説明書のご案内」記載）へご連絡ください。

- **ご連絡いただきたい内容**

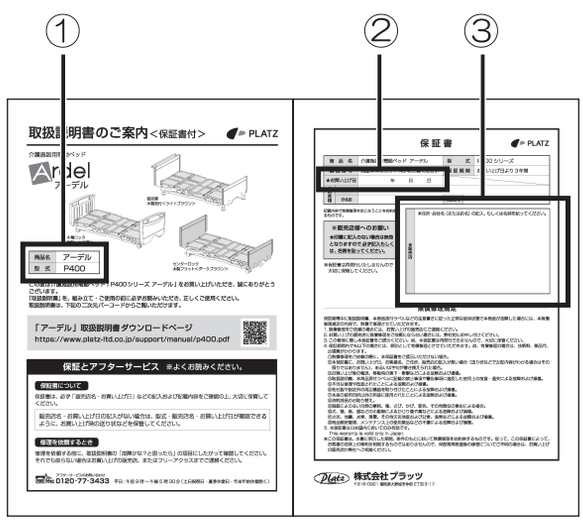
※①～③は、「取扱説明書のご案内」に記載されています。

①商品名および型式
②お買い上げ日
③お買い上げの販売店
④商品のシリアル番号（S/N で始まる番号）



※各パーツに貼ってあるシールに記載されています。

⑤故障内容（できるだけ詳しく）
⑥ご住所 / お名前 / お電話番号



取扱説明書のご案内

- **保証期間について**

保証期間はお買い上げ日から３年間です。保証期間内は、保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。
ただし、保証期間内でも有償修理になる場合がありますので、詳しくは保証書の内容をご覧ください。

- **保証期間を過ぎている場合**

修理および部品交換にて対応可能であれば、有償にて修理いたします。

- **修理代について**

修理代は、部品料、基本出張費、技術料で構成されます。
【部品料】…修理で使用した部品代です。
【基本出張料】…お客様のご依頼により、技術者がお届け先まで出張する際に発生する費用です。
【技術料】…商品の診断・故障箇所の修理などの作業にかかる費用です。

フリーアクセス FREE アフターサービスのお問い合わせ 0120-77-3433 平日 午前９時～午後５時３０分（土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く）

株式会社プラッツ
〒816-0921 福岡県大野城市仲畑 2丁目 3-17

'23.06月作成
NP0189-I